

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（596）
2. 日 時：令和5年12月14日 10時00分～11時50分※一時中断
13時30分～15時20分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、熊谷主任安全審査官、
藤原主任安全審査官、小野安全審査官※、谷口技術参与、中房技術参与、
三浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

石田技術参与

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（安全設計担当）、他14名

原子力事業統括部 原子力土木第2グループリーダー※、他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 防潮堤の構造成立性確認結果及び指摘事項に対する回答
- （2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第5条 津波による損傷の防止（DB05 r. 3. 39）
- （3）泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））
- （4）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針））
- （5）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第5条 津波による損傷の防止（防潮堤の設計方針）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい、規制庁フジワラですが時間になりましたのでヒアリング始めたいと思います。泊発電所3号炉の膨張て構造成立性確認結果及び指摘事項に対する回答、事業者の方から説明してください。
0:00:13	はい。北海道電力の高橋です。本日は傍聴での構造成立性の確認結果それから指摘事項に対する回答ということで、
0:00:24	ご説明をさせていただきたいと思います。この資料につきましては1月の末の会合を目指して、準備を進めてきているところでございます。
0:00:36	本日は傍聴での構造を成立性それから
0:00:42	解析結果踏まえてですね、ご説明をさせていただきたいというふうに思ってます。それから防潮での構造成立性評価に用いる津波荷重、資料で言いますと、補足説明資料を今準備を
0:00:57	してございます35ページでございますけれども、こちらにつきましては、先週、津波は優遇に関して、ヒアリングをさせていただいておりますけれども、
0:01:09	そこでいろいろいただいているコメントを踏まえて、修正検討を進めているところでございますけれども、本日は、申し訳ございませんが、し、まだ社内的にまとまってございませんので、
0:01:24	こちらの方はご説明割愛させていただきます。
0:01:28	順次、社内で整理して、ご説明をさせていただきたいというふうに思っております。
0:01:38	それでは本日、呉マツモトの方からご説明をさせていただきます。
0:01:46	北海道電力の松本がご説明させていただきます。まず資料1-1からご説明させていただきます。3ページをお願いいたします。
0:01:56	この資料につきましては前回の前回からの更新箇所を黄色塗りにしております。まず丸の三つ目の矢羽根の四つ目ですけども、
0:02:06	指摘事項に関する回答としまして津波防護方針における防潮低高さの設定の妥当性について今回回答を追加しております。
0:02:17	以降説明内容につきましては記載の見直し充実化を図った箇所の説明を割愛させていただきますして、新たに追加になったところのみをご説明させていただきます。
0:02:31	資料の10ページをお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:36	構造成立性自身はの選定のところで、丸の四つ目ですけども、地震動の継続時間の観点から、継続時間の長い方が液状化が生じやすいと考えられますけども、
0:02:49	S s 3-5 による、耐震評価の液状化検討対象層の過剰間隙水圧から、
0:02:55	セメント改良度及び高強度部の滑り安全率が最も厳しい時刻に周辺事故
0:03:01	地盤が液状化していることを確認しております。こちらにつきましてははまとめ資料の方の資料 1-2 でご説明しております。
0:03:12	続いて 15 ページをお願いいたします。
0:03:19	15 ページにおきましては包丁での評価に用いる津波荷重につきまして整理をしております。
0:03:26	ポツの二つ目ですけども、防潮での構造成立性評価において暫定的に設定した津波高さ 19 メーターにつきましては、耐津波設計として考慮すべき潮位等も含めて評価した入力津波高さ、
0:03:41	こちら T P 16.8 メーターに対して、高潮による潮位変動を考慮して設定した津波高さより保守的な設定であることを確認しております。
0:03:51	なお後半の文章によると、高潮による潮位変動を考慮して設定した入力津波高さ T P 16.8 というものは誤記ですので次回、訂正させていただきます。
0:04:09	続いて 21 ページをお願いいたします。
0:04:16	21 ページにおきましては、包丁での標準部における評価のうち、地盤物性のばらつき及び埋め戻しの物性値の違いによる影響検討を上段に示してございまして、
0:04:28	タダンに砂ソウノ影響検討としまして、防潮て前面にある砂ソウノ物性値が、まだ決定してや、確定していないことを踏まえまして、
0:04:38	それに対する影響評価について今回追記したのになります。
0:04:42	まず上段ですけども、右の表でご説明させていただきますと、上、一番上が基本ケースとしまして、地盤物性のばらつきなし。
0:04:52	あと 12 号埋め戻しの物性を用いた時の評価を示しております。中段が 12 号埋戻度で、剛性マイナス 1σ をしたとき、3 段目が物性値の違いによる影響ということで 3 サンゴ埋め戻しの物性を用いた評価を行っております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:07	詳細につきましては、3.85 付近のショウサツになっておりまして、ほとんど影響のない結果となっております。
0:05:16	下の段、津名層の影響検討け、影響検討としまして、
0:05:21	砂ソウノ日考慮模擬としまして右の図で説明させていただきますが、下部コンクリート前面にある砂層、スイッチエース日機装につきまして、
0:05:33	下部コンクリートと面しているところの砂層面直応力を出しまして、それを抵抗側から引いて、活動力を
0:05:42	割り返して滑り調査を行ったというものです。
0:05:45	こちらにつきましては照査値 7.25 ということで十分裕度のある結果となりまして、済まそう。
0:05:52	を考慮しなくても、成立性が見通しがあるということ、模擬的に評価をしております。
0:06:03	続いて 26 ページをお願いいたします。
0:06:08	26 ページにおきましては指摘事項に対する回答となりまして、
0:06:13	回答の内容としましては、すいません、白塗りの指摘事項の内容に対して回答する内容としましては、三つあると考えております。
0:06:23	①が防潮てに建設する構築物等の抽出結果、②が既設護岸の地震時の波及的影響評価結果、③が既設護岸が漂流物となる可能性についてです。
0:06:36	今回の資料につきましては①②を回答しておりまして、さらに今回追加となった、②についてご説明をさせていただきます。
0:06:46	資料の 28 ページをお願いいたします。
0:06:53	28 ページの中段に示してあります既設護岸の影響評価ケースとしまして、基本ケースとしましては前面護岸と埋戻動がない状態での、
0:07:03	評価を行っておりますけども今回影響評価ケースとしまして、防潮て前面の既設護岸等がある状態をモデル化して、評価した結果を示しております。
0:07:14	なお評価に用いるチュウワリシイ及び浦五味氏の物性値につきましては暫定的に表の記載した値を用いて評価をしております。
0:07:24	29 ページをお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:28	これらの評価結果を、左に示しておりますけども、いずれの影響評価ケースにおきましては照査値は1.2以上あることを確認しております。
0:07:39	また、右側の下の図で
0:07:44	全国最大時の飛ぶ既設護岸の変位量及び膨張時の天端の最大変位を示しておりますけども、これらの変位からしても、それぞれが
0:07:55	ツカベぶつかり合うことなく、
0:07:59	そういうことのない変位量だといったところを確認しております。
0:08:07	続いて34ページをお願いいたします。
0:08:11	34ページにおきましては、今回追加で指摘事項に対する回答として追加したページとなります。
0:08:18	回答の丸二つ目ですけども、入力津波の解析結果を踏まえた裕度評価として、設計誘導2.2メートルは参照する裕度より大きくなっていることを確認しております、
0:08:30	包丁て高さが、入力津波高さを踏まえ妥当であることを確認しております。
0:08:37	続いて資料1-2でご説明をさせていただきます。
0:08:41	資料1-2をお願いいたします。
0:08:50	資料1の通し番号27ページをお願いいたします。
0:09:01	こちら、ダイゴ-8図があるページになりますが、こちらにつきましては直線部と屈曲部において、施工目地に緩衝材を設置するないといったところを説明しているページになります。
0:09:13	今回緩衝材が設置ない箇所の応力伝達に関する評価について、黄色の文章のところでご説明させていただいております。
0:09:23	緩衝材がない箇所につきましては、誘発目地を設置しまして断面欠損分においてひび割れが人為的に生じやすい構造とすることで、隣接する膨張てからの応力伝達が生じないように配慮したいというふうなことを、設計、
0:09:37	方針として書かせていただいております。
0:09:44	続いて右下150ページをお願いいたします。
0:09:53	こちらにつきましては、支柱部の目地間の地中部の透水力対策について整理をしております。
0:10:01	中段ほどになり、2段落目になりますけども、設置許可段階における止水ジョイント地中部の構造成立性の見込みとして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:09	止水ジョイントに作用する水圧を、次のページに示しております。今回地中部の透水力対策としましては、第7-47図に示す通り、
0:10:20	治水ジョイントオオキ中部から中部まで連続して、伸ばすといったところを考えてきました。
0:10:28	こちらの検討条件の保守性につきましては、止水ジョイント気中部は前面護岸に期待しない状態の保守的な水圧による評価を行っておりますが、止水ジョイントチューブにつきましては、
0:10:39	FM、埋戻度による支持を期待できる。
0:10:44	期待できるものですが、保守性を見込まないかこれらの保守性を見込まない代わりに、海側側の敷地地盤高さについては、最大沈下量を考慮した、
0:10:54	TP5メーターとしまして、TP5メーターより浅いところは、海側に土がないので、止水ジョイント地中部と同様に津波波力を考慮して設計すると。
0:11:04	それより深いところにつきましては海側に土がありますので静水圧を用いた評価をするといったところを整理してきております。
0:11:12	151ページをお願いいたします。
0:11:19	第7-48図において左側に水圧のグラフを示しておりますが、衛藤左上の緑の実線のところ、こちらが止水ジョイント期中分に用いている津波波力の値になります。
0:11:34	それに対して、青の実線で示しているものにつきましては、止水ジョイント地中部で用いた評価に用いる津波波力を示しているものですが、この緑の実線の単点が、
0:11:47	約350から400の間にありますけども、それよりも内側に青の実線が収まっているので、地中部にかかる津波波力としましては、津波波力または水圧としましては、
0:11:59	キチュウ分よりも小さいので成立性があるといったところをこちらでご説明しております。
0:12:11	続いて241ページをお願いいたします。
0:12:17	241ページの第9-30ニイツにおきまして津波時の漂流物荷重が当たった時の応力分布につきましてこちらのコンター図で示しております。
0:12:29	差。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:30	漂流物荷重が作用したところにつきましては、赤い色になってますけども、その赤色を中心に左右上下左右上下方向に
0:12:40	左右とあと下方向に広がっていったというのがこの応力分布図から読み取れるところをごさいますて、高強度部が応力分散の効果を発揮しているといったところを確認しております。
0:12:59	続いて 249 ページをお願いいたします。
0:13:07	249 ページにおきましては、高強度部のアンカーボルトの評価のところを示しておりますけども、すいませんこちらに一部誤記がございますて、
0:13:18	文章中なお照査値が厳しい地震時の高強度に発生する応力分布図を第 9-40 図に示すと書いておりますけども、9-40 図につきましては、重畳時の分布図を示しておりますので、
0:13:32	取りかえ訂正させていただきます。
0:13:39	高強度部のアンカーボルトの調査結果につきましても照査値以内で問題ないといったところを確認しております。
0:13:49	続いて 258 ページをお願いいたします。
0:13:54	あ、すいません。失礼いたしました。255 ページをお願いいたします。
0:14:03	255 ページにおきまして防潮庭の構造成立性評価における影響検討についてということで括弧地盤物性のばらつき及び埋め戻しの物性の違いによる、構造成立性評価結果といったところのページになります。
0:14:18	パワーポイントの方でもご説明させていただきましたけども、照査値にはそれほど大きな影響はないといったところでした、
0:14:26	次のページの 256 ページの第 9-27 表におきまして、
0:14:32	それぞれのばらつきケースの調査結果を改めて示しております。
0:14:37	基本ケースに対してどれだけ照査値がばらつくかといったところを影響係数として整理をしておりますけども、0. 大きくても 0.99 といったところで、
0:14:48	ほぼ影響がないといったところを確認しておりますので、
0:14:53	これまでご説明させていただいた評価結果の裕度を踏まえると、この永久係数を考慮しても、成立するといったところを確認しております。
0:15:04	続いて 258 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:11	285 ページ括弧Cの地震時の残留ひずみを考慮した構造成立性評価結果としまして、残留ひずみを考慮しても構造成立性があるといったところをこちらで確認しております。
0:15:24	2 段落目になりますけども、津波時における津波荷重及び漂流物荷重はどちらがどちらも海側から山側に作用するため、地震荷重作用後の膨張での残留変位、山側から海側、
0:15:38	に残ってますけども、それと打ち消し合う方向に作用します。
0:15:43	ですので津波時では地震荷重作用後の防潮庭の残留を考慮したセメント改良度及び高強度部の滑り安全率につきましては、
0:15:53	津波波力が海側から山側に作用するので、安全率は大きくなり構造成立性が確保されるというふうに考えております。
0:16:01	中段の一方でというところですが、
0:16:04	重畳時に考慮している余震荷重のうち慣性力と動水圧は、海側から山側だけでなく、山側から海側にも採用する。
0:16:13	重畳時に考慮している津波波力は、山側から海側への、活動時に抵抗力となるので差し引くことで保守的な評価を行いました。
0:16:23	259 ページをお願いいたします。
0:16:28	第 29 表をお願いいたします。
0:16:32	第 29 表におきましてケースが海側活動ケースと山側活動ケースと示してありますけども、海側活動ケースに着目していただきまして、
0:16:43	重畳時の最小滑り安全率、
0:16:46	安全率が発生した時の活動力につきましては 5272 k N、
0:16:53	これに対して地震後に包丁て生じる活動力を加えた活動力としましては、
0:17:00	5272 k Nに、地震後に生じる防潮での活動力ー800 k N、さらに津波波力が本来は山側から海側に低力抵抗力として採用するんですけども、これも保守的に、
0:17:15	山側から海側にかかったとして、滑動力を出してみたと、それが1万 5372 k Nとなります。
0:17:23	このような保守的な評価を行っても滑り安全率は 2.92 ということで 1.2 以上ありまして、成立するといったところを確認しております。
0:17:43	資料 1-2 の 269 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:49	9 ポツ 6 のまとめとしまして、これらの結果から、泊発電所膨張ての設計方針に基づき防潮ての構造成立性について確認をしましたといったところをこちらでまとめております。
0:18:07	続いて資料の 1-2 の 289 ページをお願いいたします。
0:18:15	傍聴ておこうダンス、横断する構造物の取り扱いについてということで構内排水設備に関する要求事項について、こちらで整理をいたしました。
0:18:25	292 ページをお願いいたします。
0:18:32	こちらの第 3 表でご説明させていただきますと、構内排水設備を構成する設備としましては、集水枡排水管出口ます屋外排水、逆流防止設備、
0:18:43	あとは水路となっております。
0:18:46	概要図につきましては下の第 3 図に示す通りですけども、それぞれの要求性の耐震重要度分類につきましては第 3 表に整理した通りとなっております。
0:19:01	続いて 297 ページをお願いいたします。
0:19:05	こちらでは、止水ジョイントに用いるゴムのゴムジョイントの耐久性について、耐熱性体感性耐候性に観点から整理をしております。
0:19:17	いずれの観点でも、富コード成立の見通しがあることを確認しております。
0:19:23	続いて 305 ページをお願いいたします。
0:19:29	こちらでは、レーリー減衰による剛性比例型減衰の妥当性についてということで固有値解析を実施しまして、
0:19:38	現在設定している減衰定数が過減衰でないことを確認しております。
0:19:43	307 ページをお願いいたします。
0:19:49	第 1 図において、変形図を示しておりますけども、こちらの変形の倍率が、途中で切れておりまして申し訳ありません。こちらは 0.0 なんぼと、平均倍率を記載すべきところですので次回修正させていただきます。
0:20:06	こちらの変形図に示す通り第 2、21 時のモードが大きいことから、
0:20:12	こちらを膨張ての、一次モード、主要モードといたしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:17	このときの減衰定数の関係を、第2図に示しておりますが、今設定し、0.03より小さいということで、下限水ではないといったところを確認しております。
0:20:29	あと資料の説明につきましては以上となります。
0:20:33	はい。規制庁藤原です。では質疑に入りたいと思います。まず、地震動関係からです。
0:20:43	規制庁の江寄ですけども、10ページ、パワポの10ページと1-1の、
0:20:48	それで
0:20:50	以前から
0:20:53	加速度で、
0:20:56	こちらで地震動の代表性。
0:21:02	加速度で決めているんですけど、
0:21:05	最終的には結果オーライになるかもしれないけど、
0:21:09	うん。それで、
0:21:11	やはり
0:21:12	地震時動圧、
0:21:14	という観点でも確認しとく必要があると思うんだよね。
0:21:18	内容として中に液状化の範囲がどのぐらいあるかっていうのは、このまとめ資料に書いてはあるんだけど、
0:21:26	まだ私もそういう意味では結果オーライなってるのかもしれないんだけどね。
0:21:30	一応、
0:21:32	最初の前提として、評価対象を、これをコメントとしますが、非評価対象地震動S _{s5} による、
0:21:40	この1、
0:21:42	地震、首藤の地震時動圧が、
0:21:46	基準地震動19班の中で代表的であることを、非液状化ケース、
0:21:53	括弧全応力の観点から説明することっていうのを一応コメントさせていただきたいんです。
0:24:35	北海道電力の松本です。今いただいたコメントを踏まえまして全応力状態非液状化を考慮した時の、防潮底の背面に作用するダテの観点から、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:47	どの地震動が大きいのかっていうところを、確認した上でAさんののが選ばれるといったところを説明できるように終礼し、資料を修正いたします。
0:28:14	よろしいですか。規制庁中里です。
0:28:17	パワーポイントの10ページで、やっぱり地震動の設定を見ると、これS s 5、エラーA3の5選んでるんですけど、水平加速度とか相対変位、
0:28:30	僕が見ると、S s 3-4 を選ぶべきじゃないのっていうのは水平加速度が、
0:28:37	3年じゃずっと
0:28:40	いわゆるセメント改良どの0から5メートルぐらいまではアノで開始。
0:28:48	相対変位もう若干でかいと。
0:28:51	そういうのを見てなおかつ株コンクリートNOせん断力見ると前回、下部分としてはそんな大したことないんですけど、
0:28:59	SS本にイシコ絞るという理由がよくわからない。
0:29:03	SHAKEだったらS4で流しても、
0:29:07	カバーする、してるからいいって言うんではないんですけど、
0:29:11	なんでS4を選ばなかったのかなっていう理由をまず明確にして欲しいと。
0:29:17	D先生呉4がでかいところに対して、これは安全性確保してるんですかって言われたときに、
0:29:24	どういうふうな理屈で返すのかなっていうのがわかんないしね。
0:29:27	ただ、何か面倒くさいからやってるみたいな雰囲気になるので、ちゃんと理屈付けないと、
0:29:33	S s 後に絞った。
0:29:35	全部の呉レベルで接合がでかいわけじゃないんで、
0:29:39	この辺については明確に絞った理由をつけないとわからないと思うんですけど、まとめ資料にも書いてないんで、
0:29:47	そこら辺について事業者の回答の方をお願いします。
0:29:56	あと北海道電力の松本です。
0:29:59	資料の10ページでご説明を一部補足させていただきながら、回答させていただきますけども、矢羽根の二つ目で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:10	最大水平最大加速度、せん断応力変せん断ひずみに関しては、確かにS s 3-4 が下部コンクリートで大きくなっていることは認識をしておりますけども、
0:30:22	下部コンクリートよりセメント改良度の方が、強度がはるかに小さいので、その弱部、弱部といいますか強度の弱い方が成立性上厳しい評価になるだろうといったところで、S s 3-5、
0:30:36	選定して、
0:30:38	改良部分において卓越するS3-5 を選定しておりました。ただ下部コンクリートの評価の方で3-4 が上回っているといったところは、事実でございますので、
0:30:49	こちらの評価の見通しについてももう少し補足をしたいと考えております。
0:30:55	現状考えていますのは、
0:30:58	水平加速度でありますと例えば、
0:31:02	S s 3-4 と3-5 に比較すると、1.2 倍から1.5 倍程度かなというふうに考えておりますので、こういったものが倍になったとしても、1.2 倍1.5 倍になったとしても、
0:31:14	下部コンクリートの照査値につきましては、
0:31:18	1.2 以上遥かに超えた主流路になっておりますので、そういったところから見通しがあるといったところを補足したいと考えております。
0:31:26	規制庁中瀬です。下部コンクリートの話だけではなくてですね、水平加速度のセメント改良度のところの点線から、
0:31:35	この上の0 メーター、5 メーターのところは、S s 4 の方がでかいんですね。で、セメント改良度の水平最大変位を見ても同じように、点線から、
0:31:47	ちょっとから進めた。
0:31:50	集合6 メーターとかセメント改良分の方がでかいんですか。
0:31:55	これについてはカバーされてないんじゃないですか。これについても考察が必要だと思っておりますけどいかがでしょうか。
0:32:17	北海道電力の佐藤です。
0:32:20	最大、長澤さんのおっしゃる通り、再生最大加速度が、
0:32:27	再生産の予定生産の方で、
0:32:30	セメント回路、真ん中より、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:33	下のところでちょっと逆転していたり、再水平最大変位について、
0:32:38	5メーターぐらい上のところで、江藤SSさんの方が、
0:32:44	井清3-4の方が、イシタのところ、ちょっと大きくなって、
0:32:48	そういったところにつきましては、
0:32:53	加速度が、基本的には水平せん断応力の方に、
0:32:59	上から下に伝播する過程でせん断応力となってくるわけですが、
0:33:04	そこをセメント改良堂に限って言えば、その辺の大小はすべてこの加重せん断力として包絡されていて、
0:33:13	3-5がセメント改良度においては、最大となっているというところになります。ちょうど交差するところがこの点線のところぐらいです。
0:33:22	下部工につきましては完全逆転してるんですけども先ほど、
0:33:26	マツモトが申し上げた通り、
0:33:30	強度として、
0:33:31	このぐらいであれば、十分に保守性は確保できるというところで、
0:33:36	考えております。以上です。
0:33:39	規制庁中沢です。そういうことをですね今言った、
0:33:43	株コンクリートはいいと言って、説明の通りだと思うんですけどセメント改良どのこの点についてはちゃんとやっぱり、
0:33:50	まとめ資料とか、裏を見ると普通の人は何でっていう
0:33:56	疑問が生じると思うんで、ちゃんと理由を書いといてください。
0:34:00	よろしくをお願いします。私から以上です。
0:36:00	規制庁熊谷です。
0:36:01	今の話とも少し絡むんですけども、
0:36:05	そのままなんですけど20ページのところでもですね。
0:36:09	まさに、SS3-4の方が、
0:36:12	大きいんですけども、融度がありっていうふうに記載がありますので、
0:36:16	いうこの融度がありっていうだけだと、どれほどのものかよくわかりませんので先ほどお話ありましたけれども、
0:36:23	より定量的なですね、
0:36:26	記載にして説明をしていただければと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:32	移動電力のまつもつで承知しました。
0:36:35	あとそれとこの、
0:36:36	まとめ資料1-2の方の、
0:36:39	223ページの、
0:36:42	こちらの方でも今、裕度の話ありましたけども、
0:36:45	それとともにですね
0:36:49	下から二つ目の、
0:36:51	パラグラフのところで、
0:36:54	最後に
0:36:59	S s 3-5による、
0:37:02	液状化影響検討対象層の
0:37:05	過剰間隙水圧比から、
0:37:09	渋谷ニイツが最も厳しい時刻に、
0:37:12	周辺地盤が液状化していることを確認するというふうな記載がある。この確認するってのは、何かどっかでも確認されてるんでしょうか何かそこら辺の説明どこにあるのか教えてください。説明してください。
0:37:42	あと北海道電力の松本です。衛藤。
0:37:45	こちらについて回答しているページがありますので少々お待ちください。
0:38:01	北海道電力の松本です。資料1-2の239ページをお願いいたします。
0:38:11	こちらで次、第2の第9-29図においてS3の5の全時刻最大の過剰間隙水圧を5月、
0:38:27	はい。
0:38:28	第9-29図におきまして全時刻最大の過剰間隙水圧比の分布図を示しております。包丁と包丁で全背面の埋戻度につきましては、
0:38:38	図中に示しております通り、0.95以上の範囲が広がってきているといったところになります。
0:38:46	防潮てに隣接する要素のうち一部を取り出しましたのが第9-30図になります。
0:38:53	こちらが膨張て背面の1要素に着目して過剰間隙水圧比の事故時刻歴を示したものになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:01	f s 最小時刻が 16.78 秒ですけども、この時刻において、過剰間隙水圧比は 0.95 程度にも上昇しているといった結果になっております。
0:39:13	これらにつきまして、
0:39:20	この時刻の観点から、
0:39:24	これよりも長い地震動においても、液状化の影響が考慮されると。すいません、江藤、この時刻におきまして
0:39:34	液状化が発生していると、というような観点から、S s3-5 よりも、
0:39:41	地震動の長い地震動におきましても液状化が考慮できるといったところをこちらで整理をしております。
0:39:52	規制庁熊谷です。
0:39:54	はい御説明のところ。
0:39:58	223 ページのところで確認するってあるんですが、ちょっとその、どこで説明してるのがわかりやすいようにですね、その引用していただくようにお願いします。
0:40:08	規制庁の江崎です。これって説明したことにならないんだよね。だから、最初に言った、
0:40:13	1次元のと地震動、特定のところで話をした方がいいと思っていて、
0:40:19	なぜかっていうと、
0:40:21	一番大事なのは最後の方だよね、背後の方がちょっと近いけどね。
0:40:26	液状化っていうか、0.95%超えてないじゃないですか。これがもう全部ね。
0:40:33	全要素、最後の部分は、
0:40:35	真っ赤になってれば、いわゆる F L I P 流アノ。
0:40:39	0.95 からね。
0:40:41	1.0 までの範囲に、
0:40:44	なっていれば、
0:40:45	それは言ってもいいと思うんだよね。
0:40:49	どうも、もう、液状化する根井要素がほとんど全部液状化しますと、
0:40:55	であれば地震動が何であれ、もうほとんどそれが厳しいに決まっているから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:59	それ以上のものはないんですよといった地震動を変える意味がないんですよっていう説明であれば、柏崎とかいうところはみんなそんなとこ結構多いんだけど、
0:41:08	特に投入なんてさ、もう全部真っ赤な部分が多いんだけどさ。
0:41:12	ここの場合はそうになってないじゃん。だから、基本的にちょっとそこまで説明はちょっと難しいと思う。
0:41:17	うん。こういったんであれば、逆に言うと、
0:41:23	考え方を、最初の地震動の選定の中で考えていくか、していかないと、あとそこでこれ言ってんのはわかるんだけど、
0:41:31	もしかしたら、どんどん地震動を変えてもこの程度なのかもしれないんだけど、
0:41:36	うん。それはやってみないとこれ多分わからないというしか言いようがないんで、我々はこれじゃ不十分なんで、これでは理解しかねるとか。
0:41:45	うん。
0:41:46	うん。言わざるをえないので、もう少しこの地震動の選定は以後の動圧の観点から、もう少し、
0:41:54	最初に私冒頭で言いましたけど、考えていただきたいんですけど、よろしいですか。
0:42:00	北海道電力の松本です。背面の動圧の影響の観点から、もう少し説明の仕方を考えて次回説明資料に反映させていただきます。
0:42:12	いわゆる、あんまり長く今日時間が短いんであれなんですけど、背後の液状化が激しいところ、基本的にはこれ傾斜してるじゃないすか、岩盤がだからそこを流動で上に、
0:42:23	運営からそう大して離れてないんで、そこは流動考えなきゃいけない状態なんでそれが多分そ水平方向即発として一番大きいというふうに一般的に考えるべきなんで、
0:42:33	でも確かに全面の部分の、その背後の部分が、
0:42:37	自動抵抗を期待できないってのは大きいかもしれないけど、それよりもそれはアクティブだと。
0:42:43	話はアクティブの方を考えた方がいいと思うんですね。うん。
0:42:47	パッシブな方じゃなくて、
0:42:50	普通、簡単に考えるならば、だからそのセオリーとしてどうするか、もう一度よく考えてください。以上です。
0:43:01	北海道電力のマツモトで承知いたしました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:05	はい。規制庁藤ですそう。私もここなんか、よくちょっと、
0:43:11	ロジックが全然掴めなかったのもうエザキがまさに冒頭、あと、今先ほど言ったやつ項目でちょっと整理をするのだと。
0:43:20	何かちょっと前回なんかお話聞いたときに、ヒアリングでしたっけね。
0:43:24	この膨張てそのものに作用する慣性力が主なのかそれとも背面のドアツァーが主なのかっていう観点もちょうとそれがよくわからず、
0:43:36	もしかして事業者その膨張てそのものがすごいもう、
0:43:40	どでかいやつだから、そいつで決まってるがゆえに何かこういうロジックを持ち出してきてるのか、その次のパワーポイントの説明或いはこの文章も全くそこちょっと読めなかったもんで、
0:43:50	一応、もうちょっと何かその辺の、何が一番効いてるのかっていうのを踏まえても、また話を説明して欲しいんですね。ちなみにこれ、どっちが大きいかって何か今簡単にわかるんですかね、こうやって。
0:44:04	こういう説明を今しようとしてた背景っていうのがもしそこにあるんだったら、
0:44:10	今説明して欲しいなと思ったんですけど。
0:44:13	もしなければ、考察していただければ結構ですよ。
0:44:19	北海道電力の松本です。今藤原さんのおっしゃられた通り防潮での評価にとっては慣性力が効いてきているというふうに考えております。その結果を
0:44:30	サンゴ埋め戻しだとかあと剛性のばらつきの結果も見ましても照査値がほとんど変わっていないことからわかります通り、包丁で自体の慣性力が効いてるんだらうなというふうに考えており、
0:44:44	はい。規制庁城野ですけどその辺もきちっと事業者に何をもってどういうふうに考えたのか、一応ちょっと今この、やっぱり資料の文章だけだと読み取れないので、今の口頭でやりとりを踏まえて
0:44:57	考察をきっちりして欲しいんです。はい。
0:45:01	ガイド電力のまつもつで承知しました。
0:45:11	規制庁の三浦です。
0:45:13	ちょっと確認をさせていただきます。10 ページの1次元波動論。
0:45:18	でやってるやつありますよね。それは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:22	12 ページで示される。
0:45:24	入力地震動基準地震動を、
0:45:28	−200メートルまで落としてやって、実地盤モデル、この結果だっ て考えていいですか。
0:45:37	北海道電力の松元です。おっしゃる通り、実地盤モデルでの結果 になります。わかりました。まずそれは少し次元波動論のところ の説明はそれ入れといたらいいと思います。12 ページの実地盤モ デルを用いているということがですね。
0:45:51	それが1点と、これ、鉛直地震動に対しては、評価は何かされて るんですか。
0:45:58	水平だけ。
0:46:00	ちょっとそこは北海道電力のマツモトで水平のみ、少々お待ちく ださい。
0:46:10	比較等で入力としましては両方入れてますけども比較は水平のみ の比較をしますとですか。
0:46:18	その両方入れてるイシイハダホデ両方入れてるんですね、地震動 としては両方入れますもんね。
0:46:25	鉛直の影響ってのはもうほとんど変わらない。それが少し分析さ れてますから。
0:46:31	水平だけでもいいんだけど、多分重立ったものは水平だと思いの で、
0:46:35	鉛直に関しては、
0:46:36	それほど変わらないとか、ほとんど影響ないってことを確認され てますか。
0:46:45	北海道電力の佐藤です。主要なものとしては、
0:46:50	水平性前だというふうに考えておりましたけども、鉛直につい て、このように比較していなかったところなんで、
0:46:59	そこについてはちょっと持ち帰り検討先ほど注入がってかコウセ レクションするときには水平動だけで構わないと思うんですが、鉛 直性どこに入れてるってということなので、鉛直の中のまとめ資料 に少し結果でも入れておいて、もうほとんど設計的に影響しない んだと。
0:47:15	いうことを確認していただいた方がいいような気がします。
0:47:22	北海道電力の佐藤です。承知しました。まとめ資料で結構ですか らお願いします。はい。私から以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:38	規制庁藤原です。36 ページの、
0:48:43	パワポの 36 ページのところについては、
0:48:47	今日、冒頭事業者からあった通り、35 ページ以降の話かな。
0:48:54	は、
0:48:55	今日はこれは、要は日前回のヒアリングの内容が反映できてないので、今日は説明は割愛。
0:49:02	するっていうことで言われてそれは多分 15 ページ、もう、
0:49:10	まず同様ってことですかね。15 ページの一番冒頭の、
0:49:15	津波荷重で
0:49:18	一番あれですね膨張て人命の地盤高サトウのサノ 2 分の 1、津波浸水深として、要はこれを津波浸水深が 2 分の 1 だ、これもまだヒアリングで事実確認。
0:49:30	ハマダ完全に終わってない項目なので、これらは
0:49:35	今後説明があるというふうに
0:49:38	今日説明だから、なかったと、次回きちっと説明をされるということですね。
0:49:45	こっちにどういう方向で今考えられてるんですかね包丁て構造成立性という観点でお聞きしたいと思ってんですけど。
0:49:54	津波波力と、別でもいいし同じでもいいかもしれんすけど、そもそもこの防潮て構造成立性では、この津波波力ってどういうふう
0:50:03	に今、
0:50:05	何か、
0:50:05	示してこともあるんですか。
0:50:21	北海道電力のタツザワですと事業が事業者側で確認しますので、少々お待ちください。
0:54:41	北海道電力の辰田です。
0:54:44	衛藤、ちょっと時間。
0:54:47	ちゃんととれたもらいましたけども、
0:54:50	今の波力に津波風に対する保守性の話は、
0:54:56	堤体についてはですねいう十分な裕度があるということを確認できているので、
0:55:02	そこに
0:55:04	例えば変わったとしても、
0:55:07	対応のしようがあるというかですね、軽微な変更とか、
0:55:11	あと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:12	もしそれ以上予想が変わったとしたらその詳細を差し替えさせていただきますので、構造物の裕度があるというところの方針で、記載をさせていただこうかなと考えているのが今の状況です。以上です。
0:55:32	規制庁の江崎です。大体の方向性はわかりました。それであれば、ある程度、
0:55:39	今後まだ審査
0:55:42	をこれからするものに対しての影響はないと思いますのでそれで結構だと思います。ただ、
0:55:46	今後その話とかですね、過程が変わる過程ですね審査の過程で、この内容に影響を大きく応募するものであれば、速やかに報告していただきたいと思います。以上です。
0:56:00	はい北海道電力の辰田で承知しました。
0:57:51	今規制庁内でちょっと今、町内ウタ折衷で少々お待ちください。
1:05:22	規制庁藤原ですちょっと今庁内打ち合わせに加えてちょっと今マイクの不調がございましたので今調整が完了いたしました。それではヒアリングの方、
1:05:33	再開したいと思います。手続き止水ジョイント受注関係について質疑入りしたいと思います。
1:05:43	はい。規制庁中房です。資料1-1の11ページの、
1:05:50	節水ジョイント関係について
1:05:55	お尋ねします。
1:05:57	上から二つ目の丸で、
1:06:02	施工目地における綱ミイによる地中部の市等勢力に対して、止水ジョイント年齢深さを延長し、
1:06:12	70分の透水を水準で防ぐ構造とすると書いてあるんですけど、
1:06:18	もともと止水ジョイントの命令はどこまでなんですか、看板まで入れるんですか。
1:06:23	どこで、
1:06:24	実施日ジョイントの
1:06:26	自体の、
1:06:27	地震時の健全性と固定方法をどうするんですか。
1:06:32	というところが、ちょっとわからないんでタダ入れると言っても本当に、ここら辺の成立性があるのかなあとあって、お尋ねします。ここら辺についてはいかがなんでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:48	北海道電力の松元です。こちらにつきましては詳細な構造図を示すことができおりませんが考え方としましてはまとめ資料1資料1-2の、
1:07:00	150ページに言葉で簡単に記載をさせていただいております。
1:07:18	こちらで、
1:07:25	7ポツ3ポツ4のところ、冒頭のところですね目地、止水ジョイントの構造概要を図に示しますけども、
1:07:33	2行目の水口からの地下水の浸入を防ぐために膨張して背面の岩盤まで設置するというところで境界につきましては、
1:07:42	次、液状化による埋戻地の沈下後敷地高さに保守性を考慮した8.5メートルとするといったところで、もともと地中分と考えていたところの値につきましては、
1:07:54	8.5メートルまでというふうに考えておりました。それで今回追加した範囲としましては8.5メートルよりも深いところを地中部として追加したという経緯が言ったところでは、
1:08:06	構造につきましては、
1:08:09	すいません。
1:08:15	へえ。
1:08:17	少々お待ちください。
1:08:37	失礼しました。
1:08:39	構造につきましては再150ページの最後の文章におきまして、地中部脇チューブと同様の止水ジョイントしようとする事で成立見込みがあることを確認したということで、
1:08:52	式チューブと同じ定着部材にアンカーボルト2本をつけまして、ゴムジョイントをつけるといった構造を考えているといったところでは、
1:09:02	岩盤部との境界につきましては、現在詳細検討中でございます。
1:09:24	北海道電力の松本です。こちらで見込みがあることを確認したと、と書いてますけども、内容としましては次のページで波力の評価を行いまして、
1:09:36	気中文字にもついている波力が愛知中部の静水圧よりも小さい大きいといったところを確認したのみで、これより外力が小さいので問題ないでしょうといったところを今回節、
1:09:51	見込みがあるといったところを確認した根拠でございます。
1:09:59	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:04	文章中にはですね 150 ページの鳥栖下から 5 行目の後半分の文章になりますが、
1:10:14	止水ジョイントに作用する水圧を比較すると止水ジョイント器中部の津波波力+動水圧の 5 層合計水圧 400 k Nパー平米程度に比べて、
1:10:25	5 メーター以深は津波波力と動水圧が最大 300 k Nパー平米、5 メートル深いところでは生成 300 k N小さいので、中期中部の資料で成立見込みがあることを確認したといったところ。
1:10:39	説明させていた。
1:10:47	はい。規制庁永長です。
1:10:49	じゃあこれわかりました、止水ジョイント自体は、これ耐震性についてはどういうふうに考えられてますか、地中部について。
1:11:32	だから、津波だけではなくて地震時の、
1:11:37	背面のそのモリドが液状化したときとか、一応これ、基盤が斜めになってるんで液状化したらそこを流動はずもかかるんで、
1:11:48	そういうのを検討をやられてて、きれないとか、十分あるっていうことを言っていたら、
1:11:56	津波発については、確かに書いてある通りだと思うんで、これについての検討を、今と言いませんけど、後日、
1:12:05	次回教えて欲しいんですけどよろしいでしょうか。
1:12:10	北海道電力の佐藤です。今、考えていることとしましては、
1:12:16	敷地側の山側からくるそういった水圧ですとか、動圧というところが、
1:12:25	今、止水ジョイントが海側から来て津波はるかが作用して広がる方向を押さえつけてくれる方向にはあるので、
1:12:32	そういったところは
1:12:38	止水ジョイントにとってはいい方向に働くんじゃないかなというふうに考えております。ただ荷重としてその辺を、
1:12:45	波力を低減する、そういったふうなことはせずに評価できるんじゃないかなと考えております。
1:12:53	すいませんナカセアノ、まず地震が単独で起こって、
1:12:58	異常過圧がかかって、力が、動圧が、その陸から海にかかる場合、
1:13:05	そこをリュ営業課起こって、陸から海にコウ d o s e がかかる場合についてはちょっと検討がなされてなかったんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:14	それについて津波+地震のときは、両方打ち勝つ方向かと思うんですけど、まず地震が起こったところの成立性を考えた後に、
1:13:24	津波と重畳時を考えればいいかなと思う。
1:13:28	そこら辺を
1:13:30	今、検討中だったら、今後教えてもらえばいいと思うんで、その点の検討をお願いしたいと思ってますけど、よろしいでしょうか。
1:13:40	はい。北海道電力の佐藤です。衛藤地震単独の場合、津波地震、頂上の場合、そういったところについて、
1:13:49	記載をもう少し充実させて検討したいと思います。以上です。
1:13:57	規制庁藤原ですけど私もちょっと止水ジョイントこの括弧チューブについてちょっと、
1:14:03	といろいろと聞きたいと思いますんで、
1:14:06	この呉、そもそも何でこんな構造になっているのかがちょっとあれですね、11ページ、あと11ページだと。
1:14:14	ですかねこのセメント改良どの外周を沿うように今配置されてて、
1:14:20	この外周に沿わせる引地呉あるに至った理由、要はセメント改良モンマど真ん中に設けるとかいうのも、方策の一つとしてあると思うんすよね。
1:14:33	その違いがちょっとなんか、メンテナンスとかその辺の話で、こういうふうにしてるのかそれとも何か、
1:14:41	どういうふうな考えでこの外周要はしかも土に接するところろうですよね。2ナカコウ。
1:14:48	なお、今の私のイメージだと、このパウポの11ページの右下の、
1:14:53	ですかね標準、これを秩父に置き換えたらそのゴムジョイントつての後から物があってそのちょうどあのセメント改良じゃないところを全部土埋まるわけですよ。
1:15:03	だとしたら何かいろいろと何だろう、血が錆びないのかとかいろいろ等、メンテナンス時1回土をほぼ起こらないといけないとか、その措置自体が何かゴム、
1:15:14	何か悪さするんじゃないかとかいろいろと何か考えないといけないことはあると思うんですよ。だからちょっと体系性の方の話何もそこは記載なかったんでちょっとよくわかんないんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:24	そもそものトシコどんでんしてこれ外周にしようとしたのかちょっとわからず、この件なんか、
1:15:31	今の耐久性とか、そのメンテナンスの件も含めて何か、
1:15:36	考えてることあるんですかね、一応成立性やっぱ許可段階で、ある程度成立し得ることは見ないといけないと思うんで、その点いかがでしょう。
1:16:42	事業者内で調整しますので少々お待ちください。
1:21:04	はい。北海道電力の辰田です。藤フクマ止水、地中部の止水ジョイントに対して、
1:21:13	今の形状になって、
1:21:14	ただ、経緯とか、あと今後のメンテナンスの話も含めてのご説明なり、回答になりますけれども、
1:21:23	まず、地中部背面は防潮底の外が襲って敷地が、
1:21:31	戻し度と接するように設置した、設置することを考えた経緯としては、
1:21:37	まず膨張での本体との自体の成立性に影響しないようにというのと、あと施工性の面もありますので、防潮堤外の外側に今まで予定していた止水ジョイントの
1:21:52	延長で、同じ構造でというところを考えたのが、まず一つです。
1:21:58	その中で、この設置の方法はですね、
1:22:06	端末設置の方法というか設置は、
1:22:10	そのまま延長して同じものを連続してつけるんですけども、
1:22:15	その止水ジョイントもゴムですので、ゴムの
1:22:21	痛めないようにも寿司ファスナで戻すことを検討はしていて、
1:22:27	あとゴム自体の耐候性とか耐久性とか、この辺は長期的なメーカー保証もありますけども、
1:22:39	へえ。
1:22:41	維持管理としては馬喰試験体を確保したりとかして、
1:22:46	いざ、何かあれば、その砂のところを取れば、面体ができ、取替鳥井
1:22:53	交換ができる方法も検討しておりました。
1:22:56	ですので維持管理としてはメーカー保証の中では、耐久性耐候性があるという説明になるんですけども、万が一、
1:23:07	管理していく中で、交換が必要であれば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:10	取れる方法ということで、この詳細の寸法について直DMの寸法とかちょっと検討中なんですけども、
1:23:19	そのように考えて
1:23:23	膨張での、外側敷地側に
1:23:26	そのまま延長して設置するというのを検討してございました。以上でございます
1:23:37	はい。衛藤規制庁シゲマスじゃその辺りはちょっと暴露試験数だとかあと耐久性とかいうところは、今回資料にはあったんですけどもしかしたら設工認までに何かそういったことをやるんだったらきちっとそこをやるとか、
1:23:51	またそこ微生物、或いはバクテリアとかいうの影響で今回その耐久性のところであまり記載がないようだったんですけどもしそういうのがわかれたらちゃんと書くとか、そういったところをちゃんとやって、
1:24:02	まとめ資料レベルでは、もちろんパワポでもある程度のメンテナンス数の件は触れる必要があるかと思うんですけど、その点記載が充実いただけるということでいいですか。はい北海道電力の辰田です今のシーンを、
1:24:20	まとめ資料を中心になると思いますけれども、記載をさせていただきますとまとめ資料の中に
1:24:26	止水ゴムのところ出てきましたので、そこら辺の充実と含めて、必要に応じてと。
1:24:34	維持管理の方針、方向性についてパワポで触れさせていただこうと思います以上です。
1:24:40	はい。投球場じゃないですか。もっと、このゴムジョイントの施工とあと製作の件でちょっとお聞きしたいんですけども、まず政策という点で結構このゴムジョイントなんか、
1:24:51	以前も結構長い、
1:24:54	ものだったという今回さらに長く、
1:24:57	なんて衛藤様は何ですかね工場で何かこの長いものを作って、当本と、ここに配置するのかそれとも現場かなんかでコウ呉午後アッセ圧雪かなんか溶接か何かわかんないんですけど、接着か。
1:25:11	うん。溶着。
1:25:14	そういうふうにし、どうするのかというと仮については溶着をする場合にはやっぱり止水性は確保できるような話。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:22	なんでしょうかっていうところなんですが、
1:25:39	北海道電力の佐藤です。あと、
1:25:42	ゴムについて衛藤、今のところは現場での溶着を考えておりましてその溶着部分についても、止水性が確保できるというところ。
1:25:53	というふうに認識しております。
1:25:56	わかり書きツジですわかりました。そこを何か何かまとめ資料か何かで、どっか書いていただけたらというのが1点。あと、これちょっと言う教えた説明いただきたいんですけども、今度
1:26:09	年棒調停に公費水準と、設置する時チューブですかねこれって、何だろう。
1:26:17	そもそもこの寿司セメント改良道路っていうと作るときは、鋼管ぐいを多分包丁ての前、前後ですかね、海方向と山方向に。
1:26:27	配置して、ナカを掘って、このセメント改良度を入れていくと。その時にその鋼管杭が山側に、
1:26:37	あるような状態でもこの出水ジョイントはこれ配置できそうな、そんな施工を今考えられてると理解していいですかね。
1:26:48	はい。北海道電力の辰田です。
1:26:52	山側、防潮店に対して山側に止めをしながら、スカン戻しを掘削しなきゃいけないので、埋め戻しと名は設置するんですけども、
1:27:03	その作業所、
1:27:08	詳細な寸法は今検討できてませんが必要な作業スペースは確保しながら土どめの位置を決めるだとかというところで、施工が、止水チューブの止水ジョイント、
1:27:20	等、
1:27:21	設置するのに支障のないように検討して参るというところに、
1:27:46	はい。90分ですわかりました。はい。
1:27:55	そうです。
1:27:56	ちなみにこのためコンクリートのところろう、
1:27:59	秋津フジイですけど端部コンクリートとセメント改良度のつなぎ目がこのパワポの11ページの真ん中の、
1:28:05	図でされてこの土部っていうのはもう多分そんなに長くないとは思うんですけどやっぱりあれですかねある程度その田んぼコンクリートと市民と改良とか同じ形状の部分がほんの一定程度あるところはチームもやっぱ、
1:28:19	設けて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:21	今度なんか右下の気水ジョイントの構造がそのまま使えるようなものです。そう理解していいですかね。
1:28:29	多分そうだと思うんですけど。
1:28:36	はい。北海道電力佐藤です。反歩コンクリート天端がフラットなもので、その隣側は台形形状ですのでその調整官を作って、
1:28:45	床の性状員等がそのまま入るような形を考えております。以上です。はい、規制庁ですわかりました。続きまして、もう1点だけ。
1:28:54	まとめ資料の150ページのところで、
1:28:58	先ほどましたっけね、津波パーツが、
1:29:04	要は地中部には
1:29:09	静水圧を考慮するってところの話ですかね。150ページまで下から12356。
1:29:16	要は、TP5メーターよりも上の方は、土がないので普通に春子様書きました。で、
1:29:23	それ以深は土があるので静水圧を考慮する。で、ちょっと説明がもうちょっと必要なのかな。付け加えないと、なかなかわかりづらいところっておそらくこれあれですかね、背面に。
1:29:36	ドアツも本当は採用してるけど、保守的にないものとして考えるタダ、その時にも発言はやり過ぎなので、
1:29:47	静水圧ぐらいはかけておこうか、多分そういった意図かなと思ってます。で、それが余りにもこの文章だと、何もないのでわからないんですね。だから現実どうだで、それに対してこう保守的な設計をするんだ。
1:30:00	だから大丈夫ですっていうふうにちゃんとロジックを組み立てて欲しいんですね。
1:30:05	よろしいですか。
1:30:16	電力の松本です。今のコメントの趣旨承知しました記載の充実化を図りたいと思います。
1:31:01	副社長中澤です。世古明治の件でパワーポイントの
1:31:07	33ページ名なんですけど、
1:31:10	ここで、のコメントで言ったですね、
1:31:15	いわゆる世古水っていうのは、ヒアリングの時に、
1:31:19	いわゆる緩衝材ありと緩衝材なしの二つがあって、
1:31:24	地震時津波時、庄子において、挙動の違いとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:30	包丁で本体や止水ジョイント要物影響について説明してくださいというコメントあるんですけど、ここはそういうことが書いてなくて、特に
1:31:43	緩衝材なしで、包丁で横断方向の怒鳴りあるジョイントの
1:31:49	能力の伝達とか変位の伝達っていうもしかしてそういううまくいかなければ隣り合うジョイントで、
1:31:57	施工目地なしのコンクリート自体、改良絶対時代が接する場合には、クラックとか入るんじゃないのと。
1:32:07	これはクラックが入ると、
1:32:10	だんだん悪い影響が出てくるでしょうと、津波時とかですね、そういうことについて、ナインコメントがないんですけど、
1:32:19	この辺の回答ってどういうふうになってるんでしょうかっていうことなんですけど、もし大井それが、
1:32:26	あとでかかるんだったら、後でやるとか、
1:32:31	何かを、これだったらもう、この資料を見るともうこれでおしまい。
1:32:35	瀬古目地については、
1:32:37	何の回答ももうおしまいのようなパワーポイントになってるんで、
1:32:43	これの書き方と、その今前赴任残した課題についての現状について教えてください。
1:32:55	はい。北海道電力の松本です。パワーポイント資料の方にはちょっと記載できておりませんでした。資料1-2の、
1:33:04	27ページのところで、緩衝材がない箇所の考え方について今回一文追記をさせていただきました。
1:33:14	27ページの2段落目の2行目以降は、2行目になりますけども、緩衝材がない箇所は誘発目地を設置しまして断面欠損分においてひび割れが人為的に生じやすい構造としまして、
1:33:26	隣接する膨張てからの応力伝達が生じないように配慮したいと考えております。
1:33:31	てことで誘発明示を設置した箇所には当然、後ろにゴムジョイントを、例えば岩盤まで伸ばしてありますので、止水性につきましてはそちらで担保できる構造というふうに考えております。
1:33:46	規制庁長瀬です27ページのこれ読んでも、どういうふうに、なんていうかひび割れを人的にすす持たすような誘発目地って、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:00	どう入れるんですか。例えば、
1:34:02	緩衝材なしについて、誘発目地って、これ、ダイトウ本全部入れるんですかって、もう具体的なイメージがないもので、改めて聞いている。
1:34:12	という面もありますんで、そこら辺について詳しく教えてもらえただけませんか。
1:34:56	誘発目地ってもういわゆるマスコンの時のね、これ応力入れるとか乾燥収縮とか、そういうもんなんで、その地震とか津波時の、
1:35:06	入る呉誘発目地ってこんなマスコンクリート出ます改良体で入れてんのかなとか、
1:35:12	もう通り入るのかよくわからないんで、これの具体例をただ文章だけじゃなくて、教えていただきたいなと思っております。
1:35:20	よろしくお願いします。
1:35:25	北海道電力の松元衛藤事業者内で協議しマツノ少々お待ちください。
1:42:10	北海道電力の高さです。
1:42:13	今指摘あった緩衝材ありなしのところですけども、
1:42:17	乾燥材のところグループ屈曲部とかで変形があるところで、梨のところは直線部のところにやってみましたけれども、
1:42:27	詳細は、今の段階では、どのぐらいの変位が出るかどうかもちょっとわからないというところもありますんでそれは設工認の中で、詳細設計の中で出てくるところでございますので、
1:42:40	何らかの家乾燥は入れるかもしれないということで、ちょっと記載の方は今緩衝材ありなしのふたパターンになってますけどもちょっとその辺は設工認で、
1:42:50	閉院をそ相対変位の状況に応じて、設置しますするかしない
1:42:59	としますということで、この辺の記載はちょっと修正をさせていただこうと思います。以上です。
1:43:12	私の方はちょっと気づき事項で申し訳ないんですけど、20、パワポの27ページ。
1:43:19	箱書きガクン箱書きの中の一番下のマル。
1:43:23	もう、語尾見てもらいたいんですがこれって、
1:43:27	いわゆる設工認において確認するってんだけど、
1:43:32	これちょっと気をつけて欲しいんだけど、許可の中では、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:36	根井確認するっていう確認したとかいう話はできたとしても、設 工認ではできないんで、普通上、
1:43:44	こういう言葉じりで終わんなくて、間接支持を維持するよう設計 するっていう設計。
1:43:50	うん。
1:43:51	そういう言い方に変えておらないと。
1:43:53	よく、
1:43:55	実際にわからないですね確認するつつつてもね。
1:43:58	確認しただけじゃ済まないよね。だけど設計するってなったら、 対策工も含めて全部含めて設計するだから、そこで完結するん ですよ。
1:44:07	うん。
1:44:08	そう。だから、我々のところのところにおいても、機能維持、
1:44:13	をする設計、
1:44:16	としての方針かどうかを確認しているので、そういう趣旨があっ たというふうに、今後気をつけてくださいっていうことだけ。
1:44:23	それが1点目で、この29ページで、
1:44:28	これはちょっと、うん。
1:44:31	事実確認なんですけど、この左の表の所で基本ケースと影響ケー スと、
1:44:37	て話で、一般的に言うと影響ケースは、いわゆるあれですよ。ね。
1:44:43	前面の護岸部の敷地がない状態。
1:44:47	ですよ。ね。
1:44:48	粗相した方が割と調査値としては厳しい。
1:44:52	厳しく出てんだっけこれ。
1:44:55	3.7アシダから逆と小さいほうが厳しいんだっけ。
1:44:59	だからそっちも厳しいんですね。
1:45:01	そうであったとしてもなんかちょっとね、
1:45:05	まとめ資料でもいいんだけど、なぜこういう結果になっているの かというのは、その差がないのか。
1:45:10	軽微な差しかないのか。例えば応力省力だとか、何かね。そっち わかりますよね。いわゆる、
1:45:17	この差の要因っていうのは多分、前面の自動ドアツ文化ないか らだとは思うんだけどその辺の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:24	考察ができるのであれば、考察して欲しいと思うんですが、よろしいでしょうか。
1:45:30	北海道電力の松本です。こちらの結果について衛藤調査のところが考察を加えさせていただきたいと思います。今口頭で簡単にご説明させていただきますと基本ケースは山から海に活動する。
1:45:44	ケースなんですけども影響評価ケースにつきましては、海から外山に、
1:45:50	活動するケースが最小値の時刻となっております今おっしゃられた通り前面の埋戻し動が影響しているというふうに考えておりますのでそこら辺の考察を加えたいと思います。よろしくお願ひします。こういったこの辺で多分、
1:46:03	詳細さっきの段階にそのまま使う、いくかどうかわからないけども、結果としてね、もう1回ガラポンして、
1:46:10	どういうふうな、
1:46:11	駄目なケースを選ぶのかとかいう断面を選ぶとかって話出るかもしれませんが、
1:46:16	シマダの方では少なくとも逆に何かね。
1:46:19	背後の方が全部液状化してる。
1:46:21	がゆえに、企画逆に山側に倒れ込む方が厳しかったりするようなケースが多いんだよね。
1:46:29	そう。もう何か取られて蓄水できると思う。
1:46:33	ちょっと普通はほら、陸から海へって普通考える普通なんだけど、逆転しているんで、そういうことでちょっとこの辺ちょっと、
1:46:41	どういう状態かというのを、
1:46:44	先行サイトが普通と違うような、
1:46:48	減速をしていたんだけどここではどういう現象なのかとちょっと教えてください。
1:46:53	して、もう1点ですね
1:46:57	この消波ブロックのとか皮膚ロックとかなんかは、うん。
1:47:01	お配りし能動的物性とか、あと、強毒性等の、
1:47:07	ばらつき、
1:47:08	不確かさ
1:47:10	で、それらが、施設影響に対してどういう影響を及ぼすかっていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:47:17	把握できてますでしょうか。
1:47:34	北海道電力の松元です。現状影響評価ケースとしましてチュウワリ石堂の物性値をばらつかした検討を行っておりませんのでちょっと検討はできていないという状況です。
1:47:48	何かそういった意味で今、その不確かさケースとしては、全面に。
1:47:56	昭和ブロック、
1:47:59	土肥副医師とか、被覆ブロックとかこうしたものがないとして、
1:48:03	やってるわけですねそれが一つのフタツカ性質の極端なケースという話になると思うんですけど今後その詳細設計段階までにはあれですよ。
1:48:12	どのぐらいの
1:48:14	例えば変動ケースが、
1:48:15	10%20%行ったときの感度で同程度になるのか。
1:48:20	ていうのはある程度把握する必要があるんじゃないでしょうか。
1:48:31	海田電力の松本です。詳細設計段階においては、今、暫定的に影響評価ケースで設定した物性値の、
1:48:39	影響について評価をしたいと思います。
1:48:47	規制庁だけです。多分断面ごとにいろんな場合バリエーションが、確か断面があったと思うんでこうしたものが影響を及ぼすところとないところとかあると思うんでその辺はまた詳細設計段階で説明ください。
1:49:08	規制庁藤原です。それはちょっと午前のヒアリングについてはちょっとまだ以上としてさせいただきまして、一旦経企お昼挟んで午後、改めて再開いたします。
1:49:13	はい。規制庁藤尾です。それでは午前中に引き続き5のヒアリングの方、再開したいと思います。
1:49:24	規制庁ナカザワです。パワーポイントの4ページ目の、
1:49:28	四つ目のルールのところ、
1:49:34	その中で、その下にですね、
1:49:38	兵
1:49:39	矢羽根三つあるんですけど、
1:49:43	津波時上昇時に、
1:49:47	津波田んぼの宇津

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:50	M。
1:49:51	防潮での津波時及び上場時の構造成立性は以下の理由から、
1:49:57	防潮てノヨリ激しい、厳しい評価ず、非評価条件となるため、
1:50:04	標準部の構造成立断面で確立するって、三つ矢羽根あるんですけど、
1:50:09	この矢羽根についてですね、
1:50:13	訂正で聞いて、定性的に書いてあって、標準断面より大きいとか小さいかという定性的に言ってるだけで、
1:50:22	何割大きいのか、大きいとか小さいから想定する安全率が確保されてるとか。
1:50:29	少なくともですね。
1:50:32	この三つの矢羽根について少し、
1:50:37	定量的評価を加えて話をした本児がいいんじゃないかと、定性的に物を言ってるだけなんですね。ただ、何割ぐらい大きいからこんなもんだとかですね。
1:50:47	へえ。
1:50:48	背面地盤が膨張して端部小さい、どのぐらい小さいから、
1:50:54	確保されてるのかってこれ、何か感覚的っていう思われるんでこれは直した方がいいと思うんですけどいかがでしょうか。
1:51:05	北海道電力の白川です。先ほど仲様からご指摘ありました通り、三つの矢羽根について定量的な数値等が出ておりませんので津波波力について、
1:51:17	端部と標準の比較で強度についてもしっかりと40ニュートンと、6.5ニュートンというものを示した上で定量的にわかるように
1:51:29	部分の記載を改めます。以上です。
1:51:33	はい。よろしくお願いします。
1:51:35	あと5、7ページ、パワーポイントの何ページですけど先ほど出たようにですね、
1:51:40	今日リブツ荷重については、
1:51:44	全然触れてないので、これについては先ほど言ったようにヨリキ数は、
1:51:49	にどのぐらい今設定してるんだけどこれは安全優位があるかどうか、こういう説明も加えてください。よろしいでしょうか。
1:51:59	はい。
1:52:08	ページの、例えば7ページに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:11	突然漂流物荷重って、
1:52:14	荷重は、2次元静的FEM解析モデルの一番下の津波時に書いてあるんで、この漂流物荷重については全然触れてないですね。
1:52:24	午前中の話と一緒になんで、これもう少し、
1:52:29	今、こんなもんで良い融度があるっていうふうな話を加えておかないと、突然出てくるんで、どうかなと思ってそれも加えてくださいという。
1:52:39	先ほどの復習ですけどよろしくをお願いします。
1:52:42	はい。北海道電力の白川です漂流物荷重について17ページの方に記載はありますが7ページの方で突然漂流物荷重というのが出てきておりますので、先ほどのご指摘の通りし、
1:52:55	記載を改めさせていただきたいと思います。以上です。
1:53:00	あと、引き続いて、パワーポイントの12ページ目で、
1:53:03	これ一疑似オカの話、強度曲線に出てるんですけど、これもですね今、
1:53:10	清川追加試験やってると。
1:53:13	いう話も加えてこれでおしまいじゃないんだよと、特にその2号周りとか、危ないところについては今、
1:53:21	検討中です。その一部の結果が、
1:53:25	許可段階で示せるとかあとは金イデ示せるということも追求した方が、流れがすっきりすると思うんですけどいかがでしょうか。
1:53:35	北海道電力の辰田です。
1:53:37	衛藤液状化の試験今受注ですのでその辺の今の状況を、ここに記載するようにして、
1:53:45	これも今、暫定値ということで使っていきますので、その辺も、今の状況わかるように、
1:53:52	暫定的なところを残しながら修正をさせ
1:53:57	はいよろしくをお願いします。
1:53:59	あと14ページ目の、
1:54:02	米印の一番で、セメント改良度を高強度部は二次元FEM化コンクリート2次元静的FEM括弧
1:54:13	2次元動的FEMモデルを用いて成績評価を行うってこれ、動的モデルっていうの液状化フィリップ使ってると思うんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:54:24	これで静的PMでやっても、全応力と同じような値が出るっていうふうな話をしてるんだと思うんですけど、ここら辺ってチェックされてるんでしょうか。
1:54:36	この意味がちょっといまいち分かんなかったんで、説明してもらえませんか。
1:54:54	電力の松元です。こちらで二次元のFEMで静的な、
1:55:01	モデル等と動的で静的でやるという、その比較はやっていないというところですよ。
1:55:08	二次元動的FEMのフィリップと、普通の全応力、スーパーフラッシュの湘南証拠って全く同じ値になるかっていうのは、
1:55:20	確認した方がいいと思いますよ。
1:55:22	フィリップのどのパラメータを消せば同じになるかっていうのはなかなか難しいって話も聞いてるので、
1:55:29	確認してそんな差がなければ問題ないと思うんですけど。
1:55:33	一遍
1:55:35	詳細設計というか設問に入る前に確認した方がいいと思うんですけど、この点はいかがでしょうか。
1:55:46	北海道電力の松本です。確認は必要かなというふうな認識はしましたが、その結果については、詳細設計段階で
1:55:55	ご説明させていただくという形でもよろしいでしょうか。
1:55:59	はい。そうすれば、
1:56:01	10ページに詳細については、※細かい部分詳細については、設認段階で、
1:56:08	イセ説明するっていう話でもいいんで、ちょっと書いといた方がいいかなと思います。
1:56:14	力のマツモトで承知しました。
1:56:25	きちっとじゃないですちょっと今庁内で打ち合わせしましょう。
2:06:13	はい規制庁藤尾です。衛藤小俣様社長内の打ち合わせがありました。じゃ、続きます。
2:06:20	規制庁長瀬です。同じくパワーポイントの16ページ目。
2:06:26	の、左にあるこの後、余震荷重のかけ方なんですけど、
2:06:31	何でこういう荷重のかけ方するんですかと。
2:06:35	いわゆる津波の後に余震が来るような書き方になってるんですね。
2:06:39	同時にかけるとかですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:42	いわゆるこれが、その同時にかけるより安全側っていわゆる防潮てに対して県側になるからこう書けてるんですか、逆にですね、最初にユーシン荷重をかけて津波荷重をかけてもいいし、同時にかけ、
2:06:56	るって何でこの書き方にしてるのかよくわかんない。プログラム上の制限なのか。
2:07:01	こうせざるをえないのか、これについて教えてください。
2:07:19	北海道電力の佐藤です。ちょっと事業者内で相談します。
2:10:02	逆に、
2:10:24	逆に、
2:11:49	北海道電力の松本です。今5c指摘のありました津波荷重を先に最下させているというところにつきましてはちょっと理由を整理して資料化させていただきたいと思います。
2:12:04	よろしくお願ひします。あくまでも今の許可段階で見通しをつけるという意味で、理由を書いてくれて、
2:12:12	種詳細設計いわゆる設工認になったら両方やってみて、安全が劣りますというストーリーでも構わないので、
2:12:20	まず許可段階で裕度を踏まえた理由ということで構わないので、
2:12:26	検討してください。
2:12:28	よろしくお願ひします。
2:12:35	続きましてパワーポイントの18ページ目なんですけど、
2:12:41	これも先ほど言った、
2:12:44	全応力という有効力の話なんですけど、この
2:12:49	いわゆる端部ですね、
2:12:51	岩盤の上にコンクリートを置くというので、これもあれ多分動的FEMでフィリップ使うてる。
2:12:59	滑り安定をすと思うんですけど、これこそ全応力でいいんじゃないかなという、議場かもしれないし、
2:13:06	これと全応力の結果比べて差がないっていうんだったら、
2:13:11	今後有効力使っていくのもいいと思うんですけどこころ辺についていかが考えてるんでしょうか。
2:13:21	北海道電力の松本です。
2:13:24	こちらの端部の評価につきましては今ご指摘のあった通り、
2:13:28	池浄化する層もございませんので、本来であれば、FM改善力解析で実施する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:37	一番かなというふうには考えておりますけども、設置許可段階においては標準分と合わせた解析モデルで評価するといったところを考慮しております、に動的FEM解析を用いております有効応力解析を用いております。
2:13:49	ただ工認段階においては、適切な解析モデルで評価をしたいと考えておりますので、その旨をまとめ資料等に記載をさせていただきたいと思っております。
2:14:01	規制庁中瀬ですよろしく申し上げます。
2:14:04	あと20ページで、最初、局長最小安全係数の分布で、
2:14:12	例えば20ページのこの一番左の図を見ると、この株コンクリートとセメント改良との境界の真ん中アシダで出てるんですけど、
2:14:22	こちら辺って結果だけ示してあって、まとめ資料もですねこれの考察はないんですけど、こうなってる理由って何かわかれば教えて欲しいんですけど、いわゆる考察で構いませんが、
2:14:39	北海道電力の佐藤です。
2:14:42	資料について真ん中あたり出るところの旨記載することを承知しました。理由は、ここ、ジョイン等があってここで接種確認最初が起こるんでここにどうしても力が集中するといったところが理由になっております。
2:14:57	はい、わかりました。最初に滑る目がこんな真ん中なのかなってちょっとわかんなかったですね。最初、両端だったらまだわかるんですけど。
2:15:05	何で真ん中がコウ弱くなってくのかだって真ん中が壊れてくってというイメージがいまいち掴めなかった。壊れていうか、キャンセルが小さいってイメージが掴めなかったんで、
2:15:16	これについて考察のほうよろしく申し上げます。
2:15:22	続きましてパワーポイントの21ページ目で、
2:15:28	そもそもですね、砂の影響ってというのは何でやるかっていう検討の趣旨がわかりません。
2:15:35	で、
2:15:36	まあ私わかんなかったんですけど、耐津波設計の中で、敷地前面地盤海底2メートル沈下ってあるんで、これを踏まえて2メートル沈下したときにも、
2:15:47	この前面の砂層、いわゆるエスワン演出がなくなったときを踏まえてこの検討をやってるんでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:55	まずそれを教えてください。
2:16:12	はい。北海道電力の松本です。この資料上はですねスワン宗角ソウノ物性値がまだ決まってないから暫定的なということで資料整理しておりますけども、
2:16:25	今コメントのあった、水素二相が2メートルチェッカー、
2:16:29	そのときを考慮してない場合の評価においてもこの評価の結果を用いて説明ができるかなと今考えております。
2:16:37	この資料としては物性値について暫定的に設定しているものなので、その影響評価として整理しております。おりました。
2:16:46	わかりました。暫定的といいながら物性値地盤がないわけだから、
2:16:52	ないんですよね。ASRのないないってことでコウ傾向から抜け抜けてるわけですよね。
2:16:59	もうちょっと意味について少しまとめてここに書かないとわからないと思うんで、その方をお願いします。
2:17:08	あとですね、
2:17:10	と、
2:17:12	資料1のこの安全率って、
2:17:18	横瀬氏、すいません、これと同じ結果がですね資料1-2の、
2:17:24	234ページ。
2:17:28	の第9-14表に書いてあるんですけど、
2:17:37	この表で、この表の影響評価係数と砂層の影響評価って同じことを言ってるんでしょうかってまずわかんなかったんです。
2:17:47	というのは、
2:17:49	時刻滑りの事故を見ると、
2:17:55	例えば、
2:17:56	パワーポイントでは16、16.7って書いてあって、243ページは16.78って書いてあるんですね。
2:18:08	滑り安全率もパワーポイントでは7.25で、
2:18:13	243ページで8.47と多分違うことを言ってるんでしょうか。
2:18:19	ちょっと資料を見資料1-2を見てもこの
2:18:24	影響評価は何を示してるか分かんなかったんで、その点は教えてください。
2:18:33	と北海道電力の佐藤です。えっとですね、このパワーポイントの21ページ、断層の影響評価に該当するところの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:18:42	なんですけども、資料1-2の、
2:18:46	ページ数でいうと、
2:18:49	東芝で257ページの、
2:18:53	ところに第9-28の表がございまして、
2:18:58	それ同じところ。
2:19:00	なってるでしょうか。
2:19:03	はい。ここの7.4ヤタなんて2号が、パワーポイント転記されて おり、
2:19:09	わかりました。
2:19:11	と200。
2:19:13	43ページのほうで影響って何の評価なんでしょうか。
2:19:41	243。北海道電力白川です。243ページの影響検討。
2:19:47	形成影響評価ケースの結果については、パワーポイントで言う と、
2:19:54	9、
2:19:56	通し番号29ページで、
2:20:02	既設護岸をモデル化した際の影響検討ケース、こちらが該当する ものになっておりまして、パワーポイントには下部コンクリートの 絵と結果は載せておりませんでセメント改良度と高強度部の、
2:20:14	結果のみ載せておりますのでそこは少しちょっとわかりづらくな って、
2:20:20	記載を改めさせていただきます。
2:20:22	そうですね。結構、
2:20:24	これって何か本当に、
2:20:27	照らし合わずとわかんないっすね等の表がどうなってるか。
2:20:34	ちょっとわかるようにして欲しいんですけど。
2:20:37	北海道電力の佐藤です。わかりやすくなるよう修正かけます。以 上です。
2:20:46	これもですね
2:20:48	27ページの
2:20:51	須佐層の影響評価で、この前面が、
2:20:55	前面というのは、海側の砂層B _q 看板のところが、局所係数が小 さくなってるとコガの理由についても、
2:21:05	事務所としての考察はあるでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:21:09	あれば説明ください。
2:21:21	はい。北海道電力の佐藤です。この青いところ、
2:21:25	が出てるB級岩盤の海側のところ、これは根入れしたところとして特にオールが集中するところだろうというところで、
2:21:34	青くなってるんだと考えています。
2:21:36	以上です。
2:21:39	いたしました。これはまとめ資料のところに、しっかり、
2:21:44	考察として、今言われたことを記載の方お願いします。
2:21:54	あとですね、パワーポイントの26、
2:21:58	等に32。
2:22:00	これ、
2:22:02	貼りつけたところですね、字がちっちゃくて全然読めないっすよねこのパワーポイントの後の値、これ8ぐらいにしてんのかな。
2:22:11	ちょっと少なくとも、
2:22:13	字を値が見えるように張りつけてくれませんか。
2:22:17	これ。うん。虫眼鏡見えないと見えないんですよ。
2:22:21	北海道電力の松本です。承知いたしました。
2:22:26	はいよろしくお願いします。
2:22:39	私から以上で29ページ等の説明資料も、資料1-2の230ページ、243ページ。
2:22:50	の関連についてもちょっと修正して細かく書いてください。
2:22:55	その点はよろしくお願いします。私から以上です。
2:23:07	規制庁藤原です。私の方から
2:23:12	簡単ないくつかのやつなんですけども、パワポの6ページとか、
2:23:18	ちょっと文字がちっちゃいっていうお話もちょっと今、
2:23:23	ナカセの方からっていう、
2:23:26	うん。
2:23:27	ちょっと文字がちっちゃいのに加えて何か、
2:23:30	情報量が何かやたら多い気がしますんで、
2:23:34	結局、許可段階の構造成立性で、要は、パワポで示してNEC議論しなきゃいけないことと、そうでないものってのはちょっと、もっと仕分けした方がいいような気がします。フローは多分必要だと思うんすよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:47	それ以外のその例えばフローの右下の※の内容で、
2:23:51	何かここ※2とか、要はまとめ資料にあれば、いい項目なのかそれともまとめ資料に飛ばす項目とかいろいろあると思うんですよね。
2:24:00	なんでこのひずみを引き継がないとか、
2:24:05	何か後ろ向きな表現もありますよね。
2:24:09	いえ、多分こちらのヒアリング吳中で何か話があったから多分書いたんだと思うんですけど。
2:24:17	なんつうか、基本的にはその記載をその方はきちっと
2:24:20	前向きな記載にするとともに、
2:24:24	必要なものはちゃんと取捨選択していただければよろしいですか。
2:24:32	はい。北海道電力のマツモトです承知いたしました。
2:24:42	その次へと資料1-2の111ページ。
2:24:47	ですね。
2:24:56	資料1-2の111ページっていうのはこれは、黄色いハッチングとか何かいろいろとやっていただいたっていうと、書いていただいたということでコメント回答、あとコメント回答リストに基づいて、
2:25:09	継続か否かというのを確認するつもりでありますけども、
2:25:12	なんすかね。
2:25:15	表ルー。
2:25:17	屋外タンク等の損傷による溢水評価、これはこちらで示してわかりましたで、
2:25:24	以前出したヒアリングのコメントっていうのは、敷地内の漂流物ってどんなのがあるんですかねっていうのが、聞いたところだったんですね。
2:25:32	ですなのでそこは、要は、前回のヒアリングコメントの文章がそういうふうになってるんでそれをちゃんと
2:25:40	書いて欲しいです。
2:25:41	例えば鋼材とか木材等とか、
2:25:45	だと思うんですけど、一応、女川の設工認っていう資料があっですよ。
2:25:49	その方では何か

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:51	ちよっとこの文章の番号、文章というか、言ってきますねと。確かほど津波の補足説明資料の6ポツ5ポツ1ポツ8。
2:26:00	屋外排水、逆流防止設備の開閉機能の維持とか、いうところですかね、こちらの方では、そもそもどんなものが来るか。
2:26:09	ていうのがあってそれに対してどういうふうな、ぼうぼう防護というか
2:26:14	マツノ松末バースクリーンとかあったんですけど、
2:26:16	こっちも、いや、どんなものがまず来るかわかんないのに、やっぱりA p pな包材を設けられてもそれで大丈夫ですって言われて、
2:26:23	嘘かでなかなか言いがたいところがあるので、まずどんなものが、ちょっと明確にした上で、ほぼ大体どんなのをやるんでしょうかねというのは設置コウニシズミ進ましミツイても実際はこれは、
2:26:35	中継の位置付けがどうなのかちょっとまだ整理できないんですけど、ただ少なくともどんなものが来るかぐらいはちょっと明確できないですかね。
2:26:49	ダイトウ電力のマツノ通りです事業者内で協議しますので少々お待ちください。
2:30:08	北海道電力の松本です。今コメントいただいた件に関してまず敷地内の漂流物となる可能性があるものを整理しましてそれから、
2:30:17	包丁での止水ジョイントに当たる可能性があるものを整理し、その対策がこういったものだというふうな流れがわかるように、整理をさせていただき、まとめ資料の方に、
2:30:30	反映したいと思います以上
2:31:08	はい、じゃあ、次に行きまして、4次へとまとめ資料の255ページに、
2:31:15	ていただいでですね。
2:31:17	255ページっていうのは、
2:31:22	何かこれはあれですかね、解析や物性値の、
2:31:26	±ワンシグマのケースをなんかやっていると。
2:31:30	このフローっていうのは、皆さんね
2:31:34	一番何か非一番左と真ん中はわかったんですけど、
2:31:39	一番右フローかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:31:41	地盤物性値の影響イコール安全率算案影響件数で、うん。これをやることに特に異論はないんですけど、その結果が、その次のページに何か示されてないような、
2:31:56	飛んで、
2:31:58	これはあれ、どっかで、
2:32:00	何か使ってるんすかね。
2:32:01	いや絶対何回やれ、やらなきゃいけないと言われると、何かさうでもない気もして、
2:32:07	これは何かどうですかね。
2:32:10	衛藤北海道電力の松本です。すみませんこちらの説明がちょっと不足して、今日申し訳ありませんが、
2:32:16	このような、9-43 図の通りのフローで検討しようとしておりましたが、影響係数を見てみると 0.99 と非常に小さかったので、その最後のフローのところをちょっと割愛して、
2:32:30	しまっているという状況ですので、その流れ割愛したというところがわかるようにここの記載を見直させていただきたいと思い
2:32:42	規制庁以上ですはい今のやつで。はい。私の混乱はおさまりました。はい、じゃあ、その次、258 ページと 259 ページの、
2:32:54	ごめんなさいねこの中身がちょっと、
2:32:57	すごい何か、
2:32:59	わかりにくくて、もしかしたらこうなのかなってちょっとお聞きしたいんですけども。
2:33:04	まずですね何か
2:33:06	258 ページのちょっと真ん中から図の下にある段落、一方ところですかね。
2:33:14	この 2 行目に、重畳時に考慮している津波波力は、
2:33:20	山から海への抵抗力。
2:33:23	ていうのと、あと、津波波力とその
2:33:27	分も、もう 1 個松浦力の上の 1 行目かな、その一方のところの文章で動水圧っていうのが鍵あって、
2:33:35	これの関係と、あと何か、ヤマト海の方とかいうところがすごくわかりづらかったです。で、
2:33:43	もしかして事業者はこれ、動水圧と慣性力は重畳時に同じ方向に働くと、動水圧はイコール津波波力と同じように考えて、
2:33:56	津波波力の方向は本当は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:58	海から山に飛ぶのかどうところ、山から、
2:34:01	海の方角にかけたと。
2:34:03	いうふうなことを言って、259 ページのこの表にたどり着くと、進んじゃそういう理解でいいですかね。ちょっとこれ私が好意的に解釈するそうかなと思うんですけど。
2:34:38	数字を、
2:34:43	もっと言うのですね 259 ページのこの表の上に照査条件ってあるじゃないですかその、三つ目のポツ、四つ目のポツか。
2:34:53	海側活動時は、
2:34:56	上記に津波波力 9300、
2:35:01	沼倉。
2:35:02	海野抵抗力となるとね、上記から 9300 を差し引き、
2:35:07	1 万 100 とする。
2:35:09	上記っていうのはこれは地震後に生じる津波、
2:35:16	防潮での活動、この出所不明なんすけどね。
2:35:20	うん。いや、これ海側に活動する方向だから -9 比 800 ですよ。
2:35:24	じゃあ、同じ、これは -1 同士を足して 1 万 100 にするんだったら同じ方向じゃないと駄目じゃないですか。
2:35:32	でも、同じ。
2:35:34	うん何か方法がすごい、よくわかんなくなって、
2:35:39	北海道電力のサトウで
2:35:40	えっとですね。
2:35:42	重畳時に、
2:35:46	津波波力食うを作用させている結果を使っているんで、
2:35:52	そこに、
2:35:54	地震時の残留ひずみを考慮させ、
2:35:57	見栄えの変形の時の、
2:36:06	活動力、
2:36:09	海側に変形する時の、
2:36:12	余震だけの活動力を出したいと。
2:36:15	純治くんは、
2:36:16	邪魔なので、
2:36:17	それを、
2:36:19	解析上高齢者といわゆるコウ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:36:21	引き直したってことです。
2:36:24	すごくわかりづらい表現にしていたのでその文面の修正をさせていただきたいんですけども趣旨はそういうことで、
2:36:37	規制庁ちゃうと、
2:36:39	要は何かどっかにその解析ソフトから直接持ってきた値が入っててそこには津波は抜くが、
2:36:46	入っててその液を抜き抜かないと。
2:36:50	正しく表現、そういうことですか。
2:36:53	全然わからないんですね。
2:36:56	うんちょっとこれはまず、
2:36:59	何か事情があると、何となく 100%わかってるかどうかあれですけど、ちょっと
2:37:06	もうちょっと丁寧にやる必要があるんでしょうけど、
2:37:10	これはそもそも、何の評価点でしたっけ、ちょっとあつてですね、これは目的はあれですか。
2:37:17	S S 5、いや 258 ページの一番てっぺんで、
2:37:22	地震時の残留ひずみこれが S s で発生した。
2:37:27	残留ひずみ、
2:37:28	で、その残留ひずみがここで江藤なんだろう表、258 ページの真ん中ちょっと上でグラフで、3.6mmと鉛直 0.8。
2:37:37	これがありますよ。で、これを何だっけな、津波じゃ置いといて、重畳時がまず必要です。考えないといけないです。
2:37:49	積み込むなんだっけ、S s でやれへんってこれ、
2:37:52	いきなり 800 できたのはこれ 800 点でこれどっから、
2:37:55	出して使って、
2:37:57	そこだけちょっと説明して、
2:38:00	何か急に出てきてよくわかんなかったの、
2:38:03	こっちは北海道電力の佐藤です。江藤 S S さんの 5 地震時の最終ステップの、
2:38:09	衛藤。
2:38:11	変位が、まず海側に出ていて、その応力も、海側に出るように、
2:38:17	出てますんで、そちらの、
2:38:20	活動力を持ってきたということで、
2:38:23	フジワラですけどもそしたらじゃ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:26	まず丁寧に説明してくださいねじゃ、S sによって変位にを加えて、活動力も、
2:38:32	出たっていうのがまず 258 ページの前段できっと。
2:38:35	かなイトウですよね。
2:38:38	はい、じゃあ、そういうところをちゃんと
2:38:42	そしていろいろもろもろやったらちょっと次、S sのひずみは引き継がなくても、
2:38:47	いいと、そういうふうなロジックをここでください。はい。
2:38:51	わかりました。
2:38:53	ちょっと整理をちょっとしてください。あと、荷重の方向とかも、もちろんなんかわかりやすくですねプラスマイナスの方向とか、なんかすごい金私結構これ時間かけてみたんすけど。
2:39:03	やっぱわかんなかったんで、一応お願いします。
2:40:01	はい。規制庁藤原ですわかりました。続きまして、この次のパワポの方にちょっと戻りましてこの記載だけです。パワポのですね、13 ページ。
2:40:13	パフォの 13 ページは、セメント改良度の解析用物性値っていうのを前回ヒアリングの、こちらからのお話を踏まえてここに追記をいただいたということで理解しましたが、
2:40:26	一応中津セメント改良っていうのはまだ、
2:40:32	等、これまず施設扱いですかね、ということと、あとこれから作るものってあるということで、まだ本当にこれが物性値として、
2:40:42	楽しいかというのは
2:40:44	今の時点で何かもう約束しかできないですね品質管理の副主事の方だから、ちょっとSクラスとして品質管理を確実に行う呉で、この物性値以上が出るものぐらひは、回答行ってもらった方が、
2:41:51	北海道電力の松本です。まずご指摘のありましたところにつきましては、P13 ページ、パワーポイント 13 ページにおきましてはSクラス施設としての、
2:42:03	物成長をどう管理していくかといったところを追記させていただきたいと思います。
2:42:09	まとめ資料の方の 1 資料 1-2 の 212 ページ。
2:42:14	におきましては、そのようなことを 8-15 表で一度整理をさせていただいておりますので、そちらの内容をパワーポイントにも
2:42:26	追記するという形で対応させていただきたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:37	はい。規制庁藤尾です資料1-1の34ページ。
2:42:46	比34ページを開いてください。衛藤で、
2:42:50	ここの指摘事項、
2:42:53	ていうのが去年の9月29に、暫定的に説明があった、火災防護方針、
2:43:01	なんなんですけどもこれについて私どもの方から、入力値の解析結果が出た後に、その妥当性を改めて説明していただきたいということ言ったのが、
2:43:11	対して今回の事業者回答が、
2:43:13	ここで、包丁てたかさあは大丈夫ですって言ってますんで、
2:43:19	津波防護方針全般に対して、傍聴てしか回答していったら、一部の回答なのかなあとちょっと思っていましたんで、
2:43:30	ところがですね、これを資料1-3ですか。
2:43:34	の方の、
2:43:37	ニシウチ-3の10ページ。
2:43:41	を見るとですね。
2:43:43	これが、
2:43:44	一部回答じゃなくて本日回答になってます。
2:43:48	これちょっと全部回答しきったことになっていないと思いますので、一応、外郭あん時に、去年の9月はですね、外郭防護とか、
2:43:59	私方水路の方からの流入とか、
2:44:01	そこら辺が一応出てましたので、
2:44:05	ここはちょっとまだ時期、本日について回答し切れない。
2:44:09	なされてないと思いますので、
2:44:11	少しちょっと
2:44:13	見直した方がいいと思いますけど、どうですかね。
2:44:32	北海道電力の植原です。こちらのアノスズキ事項につきましては、外郭防護全体、感度解析が出た後に
2:44:42	すべて回答し終えるという認識は同じでございます。資料上は、
2:44:47	現状この資料1の、
2:44:51	さんでしたっけ。
2:44:53	こちらの資料1-3においては本日回答とした上で、同日、1月の末の会合で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:45:01	お出しするタイトルの設計方針側は、今後回答という形になろうかと、いうことを考えてございましたが、現状ちょっとこの膨張でだけ、
2:45:13	お出ししていて、本日回答となっていてちょっと誤解を招くかなと思いますので、全体見据えた上で適正に修正したいと思います。
2:45:26	きちっとフジワラです。
2:45:29	何かやろうとしてることは何となく理解しましたが納得はできませんのでちゃんとそこは。はい。明確に、要は一つのコメントに対して、傍聴低であろうがそれ以外であろうが、
2:45:40	一部なのか本日の方が明確にしてくださいねという、かなり誤解をしてしまいます。はい。
2:45:46	その次、まとめ資料の方の、
2:45:50	54 ページ。
2:45:52	開いてください。
2:45:59	まとめ資料 54 ページにおいてはこれは前回のヒアリングにおいて、要は押し付け側のアンカーボルト等については、これって何か前回なんか
2:46:11	やや何か不思議な評価をやろうとしたんすけどそれはいろいろ考えて不要にしましたっていう記載だと。
2:46:18	思いますで、当然、アンカーボルトだけだと思ってたんですね。
2:46:23	もう記載ですけど黄色ハッチングのその津波時の高強度部はって言われると、高強度部の全部をずっと、要はコンクリートのところですか。ちょっと私、イメージしたので、
2:46:34	高強度部のアンカーボルト、
2:46:37	アンカーボルトっていうのがちゃんと
2:46:39	書かないと、誤解を招くんじゃないでしょうかっていうのが言いたいことですけど。
2:46:47	北海道電力の白川です。ご指摘のありました通り誤解を招くす、記載になっておりますのでこちら、記載を修正いたします。
2:47:01	続いて規制庁クマガイから、
2:47:06	資料 1-1 の、
2:47:08	ですね。
2:47:10	20 ページ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:15	と 20 ページのところでは、
2:47:21	構造成立性評価の結果として右の表のところにですねそれぞれ、
2:47:26	記載されている。
2:47:27	株コンクリートの、
2:47:29	調査項目として接地圧っていうのがあるんですが、この接地圧つてのは、
2:47:36	何を示されてるのかなあとと思います。接地圧、
2:47:40	コンクリートの
2:47:42	地盤の接地圧みたいなのを示されてるんでしょうか。
2:47:50	北海道電力の白川です。こちらの下部コンクリートの接地圧という項目については、セメント改良等から受けるす、下部へとセメント改良度から下部コンクリートにおける
2:48:03	接地圧を記載しております。
2:48:13	規制庁熊谷です。
2:48:15	ちょっとこれだけ見るとですね、何か、どこの接地圧を示してるのかってのが、
2:48:20	は、明確になってませんので、
2:48:23	そこは、
2:48:25	きちんと分かるようにしていただきたいというのと、今、
2:48:28	セメント改良度から小株コンクリート、
2:48:32	への接地圧っていう
2:48:35	下部ポックリとの、
2:48:37	の評価をされてるってことなんか、
2:48:39	セメント改良とかコンクリート、
2:48:42	セメント改良等の方が
2:48:44	どちらかというと、
2:48:46	弱い。
2:48:48	のかなと思ったんですが、そうすると、
2:48:51	セメント改良どの方評価した方が、
2:48:55	効果的かなと思ったんですが、ところはどういう考え方で整理されてるんでしょうか。
2:49:04	北海道電力の佐藤です。ちょっと授業、社内で相談します。
2:52:03	衛藤大峰街道電力のマツモトです大変お待たせいたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:52:07	今下部コンクリートの実ヤノ接地圧を示しているところにつきましてはこちらの示している理由についてちょっと持ち帰り整理をさせていただきたいと思います。
2:52:22	規制庁熊谷です。まず、どこを評価してるのかっていうとどうあそこ評価してるっていう。
2:52:30	それがまた、
2:52:32	適切なのかどうかというところについてですね、ご説明をお願いします。
2:52:59	規制庁熊谷です。ちょっと、
2:53:01	追加、また別の観点ですけども、
2:53:07	9 ページの、
2:53:09	ところ。
2:53:10	へえ。
2:53:13	これまあ以前ご説明されてるのかもしれない、ちょっと確認のためにさせてください。
2:53:18	9 ページの端部では、8 段目のですね。
2:53:22	ところ。
2:53:23	評価断面として、
2:53:25	設定されるということになっていて、
2:53:28	資料 1-2 だと、200、
2:53:31	21 ページ。
2:53:41	221 ページのところで、第 9-10 図ということで、
2:53:45	88 断面と、
2:53:47	8A' 断面が、
2:53:49	それぞれ記載されていて、
2:53:51	資料 1-2 の、
2:53:54	この 8 段目と 88 へ出し断面をぱっと見るとですね、8' 断面って、後に何もなくてですね。
2:54:01	ただポンと置いてあるだけでも 88' は逆に、
2:54:04	岩盤にちゃんと
2:54:07	底面と、
2:54:09	はい。
2:54:10	はい米をですね設置されていて、
2:54:12	パッと見ると、8 だしの方が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:54:15	何か津波の時とかもですね。
2:54:17	厳しくなるような評価になるのではないかなというふうにも、
2:54:21	ぱっと見、見えてしまうんですけども、
2:54:24	今回 8' 断面を評価対象断面にしたっていう。
2:54:29	そこの理由とかっていうのは、それはどう、それはなかった、どこら辺に記載されてるのかを説明。
2:55:03	北海道電力の松本です。選定理由につきましては 220 ページのところで文章で記載をしております、
2:55:13	まず 8
2:55:15	断面につきましては膨張して標準部の上部と同じ計上しているというところで、
2:55:20	標準部等の構造成立性を確認することでこちらの断面の方の成立が確保できると考えていたことと、
2:55:29	あとは、8 断面の方が、底辺より上辺の長さが長くて、上の方が広いというところで、
2:55:38	構造的に不利な形かなというふうに考えてこちらを選定したというところがあります。
2:55:45	あと、221 ページの第 9-9 図を見ていただきたいんですけども、
2:55:52	標準端部の標準端部の構造としましては、8 断面が主な断面となっております、
2:56:01	8A 断面につきましては、防潮で標準部等を接続するために、止水ジョイントをつけるところのほんの一部の断面となっておりますので、
2:56:15	ハウジョウで端部の断面としては、8 断面が防潮で端部断面となりますのでこちらの断面を選定したというところなんです。
2:56:25	規制庁熊谷です。
2:56:27	はい。
2:56:29	はい 220 ページのところは形状についての、
2:56:32	比較について記載されているというのがありました。
2:56:36	そのあと
2:56:39	8 段目が本当に一部のなものだと。
2:56:43	このご説明もあったんですが、
2:56:44	この図をパッと見ってしまうとですね、
2:56:48	何か形状はもちろんそうなんですけど、形状以外にも設置されてる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:56:53	空間的なところでは遅延駄目の厳しそうにも見えてしまうので、
2:56:58	今ご説明あったようなことはですね、ちゃんと資料上でも明記していただいた方が良くかなと思いますので、
2:57:05	そこについては、
2:57:08	資料化していただければと思いますがいかがでしょうか。
2:57:12	はい。北海道電力の松本です。包丁で端部の断面としては8断面が主な断面であるといったところを追記させていただきたいと思います。
2:57:25	はい。規制庁熊谷です。はい。お願いします。
2:57:28	あと、
2:57:30	資料1-1の10ページの、
2:57:32	ところですけども、
2:57:39	評価直接影響しないのかもしれないんですが、
2:57:43	参考までに教え、確認させてください。
2:57:46	この水平最大加速度のところ、
2:57:49	先ほどもあったの。
2:57:51	SSの、
2:57:53	3-4と3-5が、
2:57:56	と交差してたりしますけどこの
2:57:59	3-イセ3-5がですね。
2:58:02	0メートル付近のところでパートを入れたり、再生産の後以外のところも多少、
2:58:07	入れてるんですけど、
2:58:10	これ何かここら辺で、
2:58:11	セメント改良どの、
2:58:14	何か、
2:58:15	状況が変わってるようなものとかっていうのがあるんでしょうか。ここは、
2:58:19	どう確認されてるのか。
2:58:21	説明してください。
2:58:43	北海道電力の松元です。
2:58:49	資料の1-1のP14ページに
2:58:55	1断面のすみません2-2断面のモデルを示しておりますけどもちようど

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:04	左がわーに、流体要素としまして示している。
2:59:09	水が0.26のラインになりますので0メートルとなりますと、それよりちょっと下といったところになります。
2:59:17	ハウジョウでの構図、1個野瀬イクノ、1次元波動論のモデルにおきましては、防潮店の前面でモデル化しておりますので、こういった強く関係ないんですけども、
2:59:28	0メートル付近に何か構造的な特徴があるかと言われると、ないという状況です。
2:59:35	こちら、10ページの水平加速度の0メートル付近から、
2:59:44	イセ3-5が急激に上がってきているというのは、トナミの特徴として、そういった応答が出てくるものだというふうに考えておきまして、その他の波でも、先ほどおっしゃられた通り、
2:59:56	ずれメートル付近で加速度応答が大きくなっている波がございますのでそういった波の特徴だというふうに考えています。
3:00:11	聞いちょクマガイです。
3:00:13	波の特徴っていうのは
3:00:19	具体的に言うとどういったことになるんです
3:00:24	か、ちょっとそこら辺のところ、
3:00:27	何かまとめ資料か何かでも結構なんで、
3:00:30	簡単に考察していただければと思うんですがいかがですか。
3:00:34	北海道電力のマツモトで清斗南の特徴と前田考察を加えることで承知いたしました。
3:00:45	規制庁熊谷です。
3:00:48	あと、
3:00:49	別のところで、本当に記載の、
3:00:52	ところだけなんですけど15ページのところで、
3:00:56	資料1-1の15ページで、
3:00:58	今回一番左のところの※1のところ、包丁で高沢。
3:01:03	1110回会合で説明した通りであります。この説明した等、
3:01:07	つまり暫定値を設定するっていう趣旨でよろしいんですかそれとも何か。
3:01:13	1992回の、
3:01:15	説明した。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:01:16	通りの構造、構造としてこういうふうにしますとか言ってるのがまあ、
3:01:21	した通り何なのかってのがちょっとはっきりわからなくて、
3:01:24	暫定値から暫定値というふうにも書いてもらった方がいい、わかりやすいかと思います。
3:01:29	その趣旨が明確になるようなですね記載にさせていただければと思いますが、いかがですか。
3:01:38	北海道電力の松本です。こちらの文章途中で切れているような文章になってますので記載を適正化させていただきます。
3:02:00	北海道電力の松本です。この※1につきましては前回審査会 1192 回審査会合で説明した防潮低高さ 19 メーターに変更しましたけども、
3:02:13	それから変更してないといったところを言いたかったものです。
3:02:22	はい。規制庁熊谷です。はい。
3:02:24	ご趣旨わかりましたので自身がわかるような記載をしてください。
3:02:29	あと、続いて 16 ページですけども、
3:02:32	これ、
3:02:35	この荷重の組み合わせの左下の表のところ、
3:02:40	※米印を打っていただけてますけども、この風荷重の扱ってのはこれ、山側から海側へ、
3:02:47	作用する設定されてるのはこれは何か。
3:02:52	測定か何かをされてやってるんですか。
3:02:54	ここはどういう考え方で設定されてるのでしょうか。
3:03:00	北海道電力の松本です。風荷重山側から海側に向けた理由につきましては、
3:03:07	どちらからかけてもいいんですけども、地震時の評価において海側に活動する時が、滑り安全率最小時刻ですので、そういった挙動も踏まえて
3:03:19	山側から海側に作用させた方が保守的な評価になるということでこのような採用方向にしております。
3:03:29	規制庁クマガイです。
3:03:31	逆に、津波時は逆に、
3:03:34	海側から山側のほうが保守的なんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:03:38	北海道電力の松元です。作用方向としましてはそういった方向になるかと思えますけども、防潮ての前面に津波、
3:03:48	海水が対体制した状態ですので風が当たる部分がないということで津波重畳時につきましては風荷重を作用させていない、検討を行っており、
3:04:00	規制庁クマガイです。はい。
3:04:03	これで地震時については保守的に山側から、
3:04:06	海側に作用させてるということなんですね。
3:04:10	なんかそこそこまでちょっと、
3:04:14	書いてもらってもいいのかもしれないなと思いましたがいかがでしょうか。
3:04:27	北海道電力の松本です。今、風荷重の採用の仕方について江藤を少し詳しく補足させていただきます。
3:04:38	はい。規制庁熊谷です。お願いします。あと、
3:04:41	この16ページのところで、右側のところでありますけどこれ地下水の記載が、
3:04:48	ありましてですね。
3:04:52	文章上はちょっとはっきりよくわからないんですが、図面を見るとですね、
3:04:59	包丁ての内部の
3:05:01	10メートルとか9.5メートルのところに地下水を、
3:05:06	設定されるというような、
3:05:09	ことかなと思うんですが、
3:05:11	これってのはこの、
3:05:15	構造物の、
3:05:18	である。
3:05:19	防潮ての内部にですね、地下水の設定を、
3:05:22	するっていうような考え方っていうのは、
3:05:25	どういうふうな考え方でそういうふうの設定されてるのかっていうのを、
3:05:28	ご説明いただければと思いますがいかがですか。
3:06:02	北海道電力の松本です事業者内で協議しますので少々お待ちください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:07:14	北海道電力の松本です。こちらのP16の地下水、堤体内部の設定の考え方についてちょっとまとめ資料等で補足をさせて、
3:07:26	ご説明させていただきたいと思います。
3:07:32	はい。規制庁熊谷です。はい。ちょっとそこら辺は整理していただければと思いますけども。
3:07:38	あと、
3:07:39	ちょっと、
3:07:40	まとめ資料の1-1-2の網も、
3:07:43	見ていただければ、資料1-2のですね。
3:07:46	190、
3:07:47	6ページ。
3:07:51	こちらを196ページ見ますとですね。
3:07:55	傍聴での標準部と端部それぞれ記載されていて、
3:08:00	標準は、
3:08:01	包丁での、
3:08:03	内部水、水は通ってるんですが、負担分については、
3:08:08	防潮での下側にですね、地下水位が設定されていて、
3:08:13	そこら辺の設定の違いとかもですね考え方も、
3:08:17	併せてですねご説明いただければと思います。解析上の扱いがどうなってるのかにもよるのかもしれませんが、
3:08:24	この辺を整理してですね。
3:08:26	ご説明いただけますようお願いいたします。
3:08:31	北海道電力のマツモトで承知いたしました。
3:09:30	今、規制庁内でうち、
3:09:33	打ち合わせ少々お待ちください。
3:13:21	はいはい。庁内の打ち合わせ終わりました。じゃあ、続けたいと思います。
3:13:27	はい。
3:13:27	続いて規制庁クマガイですけども、
3:13:30	19ページの方の資料1-1の19ページのところで、
3:13:36	図書調査項目それぞれ記載されてますけども、
3:13:40	上の方の表で、
3:13:42	高強度部の、
3:13:44	アンカーボルトのところについては、どこあれ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:13:48	これ地震と重畳時だけ。
3:13:50	検討ケースとして示されてますけども、
3:13:53	これ津波はやらないんですたっけ。だからそこはどういう整理な んでした。
3:13:59	北海道電力の松本です。津波時の高強度部のアンカーボルトにつ きましては、高強度部がセメント改良度に押し付けられる挙動で あるので評価不要といったことをまとめ資料に、
3:14:14	ご説明させていただいておりました。
3:14:17	こちらの表にも津波Gの欄は設けておいて、
3:14:22	評価しないというふうな整理の方が見やすい。
3:14:26	でしょ。
3:14:28	はい。
3:14:30	ちょっと、
3:14:31	見やすさの観点でこの表について見直しをさせていただきたいと 思います。
3:14:38	はい。規制庁熊谷ですはい。そこは。
3:14:42	ぱっと見、
3:14:44	わかりづらいところがありますので、
3:14:47	見てわかるような形にしていただければと思います。
3:14:54	あと、
3:14:55	22 ページの、
3:14:57	ところですけども、
3:15:04	ここでは今回、セメント改良と共同部の調査時はこれはもう実際 やってもらって数字を出してもらっていたと思う。
3:15:16	ここのところで、
3:15:18	米印の1のところの、
3:15:20	記載のところですね。
3:15:22	冬期のところではすべての要素で、
3:15:24	それが2.0以上かつ、
3:15:27	赤い領域が存在しないのでと。
3:15:31	記載されてるんですけども、はい。
3:15:35	ここは2.0以上なんですね。
3:15:38	ちなみにごめんなさい
3:15:40	本文の方の二つ目の丸のところの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:15:43	本文の3行目のところでは、
3:15:45	S s はすべての要素で1.5以上、かつ書いてあるんですが、これはあえて書き分けられてるってことでよろしいですか。
3:15:54	電力の松本です。大変申し訳ありません、こちらも文章中が1.5以上でも間違いではないんですが本来※1と記載を明日2.0以上と書くべきところですね、こちら2.0というふうに修正させていただきます。
3:16:10	はい。
3:16:13	はい。
3:16:14	わかりましたじゃ、2.0のところですね。はい。ちょっと承知しました。
3:16:21	あともう1点、それからもう1点ですけども、
3:16:25	25ページのところ、
3:16:28	になります、
3:16:31	これ。
3:16:32	この右側の図のところですね。
3:16:35	最大津波高さ位置ってあるんです。この最大津波高さっていうのは、
3:16:40	これ、何か入力津波の最大高さっていう
3:16:43	趣旨なんです。どういったご趣旨の、
3:16:46	最大津波。
3:16:48	北海道電力の松本です。入力津波の最大高さを入力津波の高さを意味しております。
3:16:58	その最大津波高さっていうなどといった津波高さなのかははっきりしませんのでそこら辺は明確にさせていただきたいと。
3:17:06	思いますのと、あともう1点ですが
3:17:12	右側駄目だとか、
3:17:13	ロクロク断面の地震時動圧は考慮しないっていうふうに、
3:17:17	記載されてるんですけど。
3:17:21	これはどうしてなんでしょうか。そのやり方許可時は、ロクロク断面、
3:17:26	地震時の動圧、
3:17:28	を考慮しますと、
3:17:30	タダ設工認だと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:17:33	地震時も、ロクロク断面の動圧を考慮しないというふうにされて、
3:17:37	ちょっと条件が、
3:17:39	許可時から、
3:17:41	変更されてる。
3:17:43	変更されて
3:17:44	落ちてきてないような形になってるのかなと思ったんですが、そこら辺はどういうお考えなんでしょうか。
3:17:52	北海道
3:17:53	局のマツモトです。設置変更許可段階の断面におきましては、評価断面を1断面に集約させていただく観点で、他断面の動圧を今回、
3:18:06	2-2断面に集約させるということでロクロク断面等圧を2-2断面に集約させたという評価をさせていただきました。
3:18:15	詳細設計段階においては、現実的な評価条件で評価するということを考えておりますし、あとその他動圧の観点等で、
3:18:28	ところ、詳細設計段階の評価断面を整理していった上で、評価が必要というふうに考えれば、そういったところの断面も追加して、評価するというふうなことを今考えておりますので、
3:18:41	土地許可段階のように断面を集約して評価するといったところは、詳細設計段階では考えておりませんので、詳細設計段階では、必要に応じて解析断面をふやして評価したいというところでは、
3:19:20	北海道電力の松元です。集約したというよりかは、室の断面で保守的な評価ができるように、モデルを作って評価をコウ、設置許可段階では、行ったというところでは、
3:19:50	後、すいません。北海道電力の松本ですけども今熊谷さんの方からご指摘のあった右下の図面のロクロク断面の浸透圧は考慮しないといったところは、
3:20:01	今ちょっと、
3:20:04	2-2断面を、詳細設計段階で、評価する断面等をちょっととらえ、
3:20:11	での記載の4、記載の書きぶりになってますけども、
3:20:16	こちらはそれぞれ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:20:19	動圧の観点で断面選定が必要であればするといったところを考慮しておりますので、
3:20:24	ちょっとこちらの記載については、見直しをかけたいと思います。
3:21:15	はい。規制庁熊谷です。それでは、この記載についてはですね、きちんとそれぞれの
3:21:21	許可時の、
3:21:22	モデルと
3:21:24	設置国設工認段階でですねそれぞれきちんと、
3:21:28	その精査してですね。
3:21:30	各断面について評価、家族断面の厳しい条件で設定されてやっていくと。
3:21:36	いうご趣旨かと思えますけども、そこら辺の記載については、きちんと適切にしていただければと。
3:21:41	私からは以上です。
3:21:46	はい、江藤規制庁フジワラですが、その場合と、
3:21:49	規制庁側からの確認として、
3:21:51	Webの参加の方も含めていかがでしょうか。
3:22:08	製造のタニグチです。
3:22:10	先ほど来も話が出てたんですけど、
3:22:14	まとめ資料、
3:22:16	1-2の、
3:22:18	43ページ目のところに、
3:22:22	今回の膨張での設計フローが書いてあるんですね。
3:22:26	これを見ると、
3:22:28	どうして具体的な評価にあたって、解析やどれを使ってるのかっていうのは何となくわかるんですけど、
3:22:36	要は、最初の1-1の方の資料については、このフローが全く、
3:22:42	なくて、言葉で1項ってことポツと書いてあって、書いてあるんだけど、全体の流れがわからないので、
3:22:49	そういう中で、結果が二次元の動的FEMがこうですとか、それから調査項目は、解析方法はこうやってあります。例えば、
3:23:01	19ページのところのところに、具体的に解析方法はこうでこれでやりますって書いてあるんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:23:09	結局フローが全然書いてないので、何でこうなってるなっていうのはやっぱり最初から、やっぱり、何だかよくわからないって感じがあるんですね。
3:23:19	その辺、実際としてこれだけのことを1件の、
3:23:24	動的なFLIPで、横尾力解析もやってるし、
3:23:28	それから、2次元の静的の夢もやってるし、3次元のFEMもやってるし、そういう中で、結局滑りあってその評価で確認しますって書いてあるんだけど、
3:23:40	重畳時どういうふうにするのかが全然わからないな、何となくこうするんだらうなって感じはあるんだけど、イメージとして湧かないんです。
3:23:50	だから、最終的に、
3:23:53	この滑り安定性を評価するにあたって、各解析モデルによって全部同じような判定せ会社が出てきたものを、
3:24:01	どういうふうに評価しているのか。
3:24:03	各解析ごとに結果が違う結果が出てくると思うんですけど、
3:24:09	そういうものをどう扱うのか。
3:24:11	そういう説明をどっかにしておかないと、結局これでA評価しましたっていうのが、
3:24:18	見えないんです。
3:24:20	それで、
3:24:21	結局、スパイすべて8.1.2以下に収まってます。それやってもそれになってますって話になるのかわかりませんが、
3:24:30	全容が見えないんです。
3:24:32	で、解析モデルによっての違いなんかどういうふうに評価して、説明していくのかわからないところ、やっぱり足りないんで、
3:24:41	どれ、どうしてこれを選択してるのか。
3:24:44	で、どれだけ評価するのか、それが安全かだとか、保守的なのか。
3:24:50	という考えをやっぱり取ったり、
3:24:54	フローなりで記載をして、わかるようにしておかないといけないかなと思ってます。
3:24:59	いかがでしょうか。
3:25:32	えっと事業者内で協議しますので少々お待ちください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:25:50	この話は前も出てて、それできっとまとめられたんだと思いますけど、
3:25:56	余りに簡略化し過ぎてるので、
3:25:58	何が何だかよくわかんなくなっていて、パートの方で頭書きでは、これでやるとか変えた結果が書いてあるんだけど、どうしてそれになったのかよくわかんなくなっちゃった。
3:26:10	て感じがあるんです。
3:26:13	はい。北海道電力の辰田です。
3:26:17	谷口さんのご指摘は理解していて、
3:26:22	ちょっと最初、
3:26:24	そのパワーポイントじゃないですね、まとめの43ページのフローが最初ついてたんですけど、ちょっとそこが複雑すぎてわからないすぎて、ちょっと簡略化し過ぎています。
3:26:36	パワーポイントのページみたいなスローになってます。なのでちょっと簡略化し過ぎてわからなくなっていて照査結果が多い。何をやってこれに出てきてるんだというか、終えていけないので、
3:26:47	ちょうど6ページのような、パワーポイントのページのような、ちょっとフローをですね、
3:26:52	もう少し記載を、
3:26:57	パワーポイントを持ってくる。なぜこれを持ってくるわけにいかない、いかないと思いますんでちょっと充実化させた形で、フローの方、ちょっと修正させていただこうと思います。以上です。
3:27:08	はい。よろしくお願いします。
3:27:13	規制庁の三浦ですちょっと気がついた点だけ言っておきます7ページ。
3:27:19	右下。
3:27:21	2次元静的改正FEM解析解析も全部解析一つをですね、削除してください。
3:27:28	それとあと、16ページ。
3:27:33	これ、地震時と重畳じゃなくて津波と重畳時なんですけど、これ地下水を実際もうちょっと低いから、15名置いとると危険の設計なりませんこれ。
3:27:44	だから、基本的にはこれ、今回の構造成立性はいいんだけど、詳細設計時はこれ地下水、
3:27:51	埋戻し側ヤマカワを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:27:53	実際に落としたやつでチェックしといた方がいいと思います。
3:28:03	要するに利益償還評価とかって高く置いといたらいいんだけど、これ津波と抑える方向の火力ですよね。だから、
3:28:11	実推はもっと低いと思うので、それにちょっと整理してこれ詳細設計時でいいと思います。構造する姿勢には関係ないのでほとんど、
3:28:32	うん。結構ね、おらがタカダもんだったので、実際にみんな
3:28:38	中国に置いてる方があった金田神尾くんだけど、
3:28:41	防潮庭で実際にコウドレンかなんかで引かれちゃうと、ヤマガタ水がすごい下がっちゃって、そうすると、
3:28:48	オオキなんですよ。倒そうという仕方が、だからそういうの詳細設計時で構わないのでその申し送り事項にさせていただいて、
3:28:56	山賀水が実推
3:29:00	のように低い場合も検討、今後設計で行う。
3:29:04	いうことにしといてください。
3:29:07	それとあと根井。
3:29:09	ちょっともう1個気になったのが、先ほどですと17ページのね、左上の、
3:29:16	左の3次元モデルで、先ほども出ましたけどモデル背面は地盤ばねとするっていうんで早目にこれ地盤までつけてますよね。
3:29:24	先ほど言った2次元との対応ってどうなってるかっていうのあるんですが、この地盤まで何つけてます。
3:29:33	それちょっと明示しといてもらえますか。
3:29:36	なかなかその2次元との地盤間の対応ってこれ非常に難しいと思うんだけど、
3:29:41	ちょっとそこも後も拾ってください。
3:29:44	はい。私から以上です。
3:29:51	はい。その他規制庁側からWEB参加の方をつけて、
3:29:54	いかがでしょう。
3:29:59	よろしいですかね。はい。
3:30:01	じゃあ、
3:30:03	今日のコメントの
3:30:05	各回答リスト、資料1-4に基づき、良か継続かを確認したいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:30:14	ではNo.8については、
3:30:18	量と、
3:30:20	いたします。
3:30:21	その次、ナンバー58については、
3:30:26	これワー
3:30:30	これワー、そうです。
3:30:43	これは継続ですかね。いや別途コメントは確か今日出してる一と思うんで一応このコメントは一応与えず量とした上で、
3:30:54	はい。
3:30:54	なるほど。
3:30:59	はい。その次、衛藤 60 番、これは継続ですね地下水の設定についてっていうのは先ほど言った通り、小峰ちゃんと。
3:31:08	やらないといけないですよねと。いや駅がちっちゃいからいいですっていうのは駄目なんで、一応設工認でもちゃんと許可がいいですよ。そこでちゃんとやってくださいということで、そのコメント、ちゃんとまとめ資料、反映していただかないとちょっと量にならないんで、継続します。
3:31:24	その次 79 番は、これは敷地内の漂流物は継続とさせていただきます。
3:31:33	次 81 番については、
3:31:36	これははい、量とします。
3:31:39	次 115 番については、
3:31:45	ミウラの四つのちょっとマツダね。
3:31:59	はい。ちょっと二次元 3 次元という関連のお話でちょっと一応継続とさせていただきます。
3:32:04	はい。
3:32:07	その次に 1005123 番は、これは止水目地のチームの練りは継続ですね。はい。
3:32:20	その次 131 番、耐久性に対抗性については、まだば、
3:32:26	微生物バクテリアとかの湯話とか、金物の話があるんで、継続。
3:32:32	次 133 番は、秩父水性についてこの
3:32:39	とりあえずは両呈しますね。
3:32:42	はい。別のコメントについていろいろ出してると思うんで、
3:32:45	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:32:46	その次、135 番については継続です。
3:32:52	継続とか実際にイマダ、ストーリーがちょっとロジックがちゃんときちっと作ってくださってということですね。はい。実 136 番は、
3:33:00	これは継続ですね。はい。137 番、これは量ですね、北光包材のリブツという、
3:33:08	次 138 番は、
3:33:14	継続ですね、リスク、あれこれ説明ありましたっけ。
3:33:18	少なくて。
3:33:42	この件についてはまずコメント、これ多分これだけじゃないと思うんですけどもまずコメントがあった内容について当初の資料においてなぜこういうふうな根拠をヒダカっていうのをちょっと示した上で、
3:33:53	じゃあ、でも、そうは言っても今回もう使わなくなりましたんだったら、そういう流れでやってくださいアノ。
3:33:59	これだけじゃないです。他にも何か何かさらっとコメント内容、何か回答で買い替えしてもあると思うんで、今回ちょっと全部見直してくださいねそれは、はい。
3:34:08	継続ということではい。
3:34:10	よろしいですか。他何かクシダございますか。
3:34:13	よろしいですか。
3:34:15	はい。
3:34:17	今日のコメントを確認しますので、
3:34:19	一旦文字起こしで S I M M E R す。
3:34:21	はい。規制庁フジワラですじゃ、
3:34:25	指摘事項がまとまりました資料、事実確認事項いう、まとまりました読み上げます。
3:34:30	構造成立性評価をするための時として選定している S s 3-5 の代表性について背面動圧の関係も含めて改めて説明すること。
3:34:40	S s 3-4 を、構造成立性評価自身はと選定しなかった理由を整理の上説明すること。
3:34:49	その次は止水ジョイントの根入れ深さを深くした部位について、地震時の健全性技術、梶野交流圧等の影響について説明すること。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:35:01	その次、地中部の止水ジョイントの維持管理耐久性について説明すること。
3:35:08	その次は、誘発目地で地震や津波能力の伝達を防止できるのか、適用性も検討した上で説明すること。
3:35:19	ナカ割シノ物性のばらつきの施設影響について、詳細設計段階の不確かさケースとして設工認段階で進めていること、また考え方の方針は、許可段階で説明すること。
3:35:34	ですので、※1について有効力解析、括弧フラッフ L I P の解析モデルを用いて、静的評価をする地方妥当性を説明すること、全応力解析の結果と、
3:35:47	大きな違いがないことを設工認段階で示されその旨を追記すること、また2月3次元の整合性についても併せて示すこと。
3:35:54	その次が、
3:35:56	津波荷重と余震荷重の入力事情について、裕度の観点も含め設計上問題がない見通しということを説明すること、また設工認段階では、人事を入れ替えた影響を確認するなど今後実施する内容を示すこと。
3:36:09	その次が、質問普通の影響検討の評価を行う目的を明確に説明すること。
3:36:19	とその次は屋内一斉時2に敷地内にどのような漂流物が想定されるかについて整理するとともに、それらに対してどのような方法、包材が必要かを説明すること。
3:36:34	次が、下部コンクリートの接地圧の評価はどの場所を評価しているのかまたなぜこの場所を評価しているのか確認の上、説明すること。
3:36:44	その次が膨張での内部に地下水位設定している考え方は実態解析上ですね、これを整理し説明すること、また膨張で標準部と端部の地下水の違いについても説明すること。
3:37:00	最後は、防潮底のヤマカワ水が自炊の場合の状況を詳細設計段階で確認すること。
3:37:06	液状化の場合は近づいが高いほうが厳しいけども、防潮での評価等においては、地下水位が低い方が厳しくなるケースもあることを踏まえてですね。はい、じゃあ、以上。
3:37:16	北電から何か。
3:37:18	ございますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:37:21	北海道電力の辰田です特にありません。
3:37:24	はい、じゃあ、今日のヒアリングは以上とS I M M E Rす。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。